ソニー・クロスオーヴァー&フュージョン・コレクション1000

Crossover & Fusion Collection 1000

「クロスオーヴァー&フュージョン・コレクション1000」シリーズの続編!

昨年スタートした「クロスオーヴァー&フュージョン・コレクション1000」シリーズの好評を受けて、続編のリリースが決定。前回同様にColumbiaとRCAというアメリカを代表する2大レーベルやEpic、Aristaなど、ソニー・ミュージックが所有する豊富なカタログから厳選。大名盤から長らく再発を望まれていた作品、初CD化となるレア作品までの100タイトルを一挙リリース。

第3弾 2017年11月8日発売 50タイトル

第4弾 2017年11月29日発売 50タイトル

epic. ARISTA RCA Private Music windham hill

- 期間生産限定盤
- クロスオーヴァー&フュージョン・ファン垂涎のラインナップ
- 全タイトル新規ライナーノーツ
- 最新マスター音源使用

スペシャル・プライス
¥1,000+税
2枚組は¥1,500+税

昨年春にリリースされた「クロスオーヴァー&フュージョン・コレクション1000」シリーズが、大反響に応えて帰ってきた。第2期は、今年の11月8日と11月29日に各50タイトルがリリースされる。世界を代表する2大メジャー・レーベルであるColumbiaとRCAの作品を中心に、エピック、アリスタ、ウィンダム・ヒル、ブルーバード等の人気レーベル、日本のCBSソニー、オーブン・スカイが原盤のアイテムも加えた全100タイトルだ。前回発売分も加えると、計200タイトルのクロスオーヴァー&フュージョン系アイテムが改めて市場に並ぶことになる。

第1期のパンフレットとの重複を承知のうえ、改めてクロスオーヴァーやフュージョンという単語について触れたい。クロスオーヴァーという言葉が、ひとつの音楽カテゴリーを示すものとしてアメリカの音楽雑誌で使われ始めたのは1975年頃のことだ。翌1976年の上半期には、CBSソニーが自社広告や商品の帯にこの言葉を使い始めた。たとえばアース・ウインド&ファイアーのLP『灼熱の狂宴』の帯には「クロスオーヴァー(ロック、ジャズ、ソウル、ファンク、ラテンの完全混合サウンド)」と書いてあり、広告記事にはリー・リトナー、リターン・トゥ・フォーエヴァー、L.A.エクスプレス、マハヴィシュヌ・オーケストラなどの新譜をクロスオーヴァー作品として売り出してゆくことが記載されている。いっぽう、フュージョンという言葉が使われ出すのは1978年下半期から。米国でこうした音楽がクロスオーヴァーよりもフュージョン(ジャズ・フュージョン)と呼ばれてきたことに対応したと思われる。その後スムース・ジャズ、コンテンポラリー・ジャズ、ニュー・エイジ・ミュージックなどカテゴリーが細分化してゆくのだが、「クロスオーヴァー&フュージョン・コレクション1000」シリーズは、すべてに目を配っている。それは第1期、第2期共通だ。

ポップな旋律、当時最先端の楽器を使ったアレンジ、ダンサブルなリズム、超絶的な演奏テクニックなど、クロスオーヴァー&フュージョンの魅力は尽きない。とにかく軽快なメロディに浸りたいという方にはスパイロ・ジャイラの『キャッチング・ザ・サン』やケニー・Gの『ザ・モーメント〜ハバナ・リミックス・プラス』が好まれるだろうし、エムトゥーメイの『ジューシー・フルーツ』やチョコレート・ジャム・カンパニーの『ザ・スプレッド・オブ・ザ・フューチャー』は、あなたの“ダンス欲”に火をつけるはずだ。アレンジの面白さという点ではヒューバート・ロウズ『ロミオとジュリエット』やメイナード・ファーガソン『プライマル・スクリーム』等を編曲したボブ・ジェームスの音作りに注目したい。この“いかにもいろんなジャンルを混合させたサウンド”が、どれだけジャズやポップスの世界に刺激を与えたか。技巧の極みを求めるファンにはジョン・マクラフリン・ウィズ・マハヴィシュヌ・オーケストラの『虚無からの飛翔』、アル・ディ・メオラの『カジノ』あたりがお薦めだ。「人間、ここまで速く楽器を弾けるものなのか」と、あらためて驚嘆させられる。

こうした作品に加え、ブレッカー・ブラザーズ『ヘビー・メタル・ビ・バップ』やジャコ・パストリアス『ジャコ・パストリアスの肖像』など金字塔クラスの名盤が混じっているのも、この第2期の特色だ。ブレッカー・ブラザーズは9月に現存するメンバーが集結して来日、当アルバムからの曲を中心に演奏してオーディエンスを熱狂させたのも記憶に新しい。そのときの印象を浮かべつつ、CDを聴くのも趣があろう。そして天才ベーシスト、ジャコはこの2017年が没後30年にあたる。メモリアル・イヤーに、彼のファースト・アルバムであると同時に最高傑作との声も高い『ジャコ・パストリアスの肖像』が出し直されるのは、実に喜ばしいことだ。

また、この第2期には、個人的に“今だからこそ聴いてもらいたい作品”もある。そのひとつが、ロスト・トライブというユニットの『失われた部族』だ。メンバーはデヴィッド・ビニー、アダム・ロジャース、デヴィッド・ギルモア、フィマ・エフロン、ベン・ペロウスキー。誰一人欠けても現代のジャズが稼働しないのではないか、といいたくなるぐらい、凄いメンバーが揃っているのに、発売当初はほとんど話題にならなかった。今回の再発で、彼らの先見性はついに知れ渡ることだろう。しかもプロデューサーは、先日惜しくも亡くなったウォルター・ベッカー(スティーリー・ダン)だ。ほかにも、現在では映画音楽の大家として知られるマーク・アイシャムらがブライアン・イーノやウェザー・リポートに触発された音作りを演じるユニット“グループ87”の同名ファースト・アルバム、マリア・シュナイダーやマシュー・ハーバートのファンにもぜひお薦めしたいマイク・ウェストブルック『メトロポリス』の壮大な音宇宙、ラリー・コリエルがアコースティック・ギターでジャズ〜ロック〜クラシック〜インド音楽を渡り歩く『スタンディング・オベーション』など、“よくぞ出してくれました”的アイテムが満載だ。目移りするのも吟味するのも自由。心ゆくまで、クロスオーヴァー&フュージョンの芳醇な世界を味わってほしい。

2017年9月　**原田和典**

No.01 “エレクトリック・ベースの革命児”、ジャコのファースト・アルバムでバイブル的な1枚!

ジャコ・パストリアス

ジャコ・パストリアスの肖像

SICJ 231
1976年作品／Label：Epic／解説：原田和典
Stereo

2000年 DSD マスタリング

1 ドナ・リー／2 カム・オン、カム・オーヴァー／3 コンティニューム／4 クル／スピーク・ライク・ア・チャイルド／5 トレイシーの肖像／6 オーパス・ポーカス／7 オコンコレ・イ・トロンパ／8 (ユースド・トゥ・ビィ・ア)チャ・チャ／9 忘れ去られた愛
〈ボーナス・トラック〉10 (ユースド・トゥ・ビィ・ア)チャチャ(別テイク)／11 6/4ジャム

ジャコ・パストリアス(b)、ハービー・ハンコック(key)、デイヴィッド・サンボーン(as)、マイケル・ブレッカー(ts)、ランディ・ブレッカー(tp)、ナラダ・マイケル・ウォルデン(ds)、レニー・ホワイト(ds)他
【録音】1975年 キャンブ・コロンビー・スタジオ

ジャズ～フュージョン・シーンに大旋風を巻き起こした“エレクトリック・ベースの革命児”、ジャコ・パストリアスのファースト・アルバム。超絶技巧の極致を示した「ドナ・リー」や「トレイシーの肖像」、作曲家としての計り知れぬ才能を感じさせる「コンティニューム」等、どのトラックにも天才ジャコの英知が注ぎ込まれている。マーカス・ミラー、リチャード・ボナなど数多くの後進ベーシストにも指針を与えたバイブルの1枚。

レジェンド・オブ・クロスオーヴァー&フュージョン 01

ジャコ・パストリアス
Jaco Pastorius

脇役的扱いだったエレクトリック・ベースを、一躍“最先端のかっこいい楽器”へと昇華させた真の革命児。1976年に初アルバム『ジャコ・パストリアスの肖像』を制作し、翌春ウェザー・リポートに参加。超絶テクニックと圧倒的なグルーヴで同グループを黄金時代に導くと共に、エレクトリック・ベースの新章を開いた。マーカス・ミラー、リチャード・ボナ等、数多くの後進に大きな影響を与えている。

No.02 天才ジャコがサイドマンとして参加した曲を、贅沢にコンピレーションしたアルバム。

ヴァリアス～ジャコ・パストリアス・ワークショップ

ノット・フュージョン・バット・トゥルー・ジャズ

SICJ 232
2001年作品／Label：Columbia
解説：原田和典
Stereo

2001年マスター

1 流浪者(ながれもの) / イアン・ハンター／2 4AM / ハービー・ハンコック／3 ダラ・ファクター・トゥー / ウェザー・リポート／4 ブラウン・アイズ / ジミー・クリフ／5 組曲「黄金の夜明け」 / アル・ディ・メオラ／6 カム・オン、カム・オーヴァー /ジャコ・パストリアス／7 ロスト・インサイド・ザ・ラヴ・オブ・ユー / トム・スコット／8 グッド・クエスチョン / ハービー・ハンコック／9 キャノン・ボール / ウェザー・リポート／10 無感動 / イアン・ハンター／11 トレイシーの肖像 / ジャコ・パストリアス

天才ジャコ・パストリアスがサイドマンとして参加したナンバーを、コロンビア / エピックの音源から選び抜いたコンピレーション・アルバム。ロック・バンド“ モット・ザ・フープル ”のイアン・ハンターとのセッションを筆頭に、レゲエ・シンガーのジミー・クリフとの共演、ハービー・ハンコック～トニー・ウィリアムスとの共演など様々なセッティングで、ワン&オンリーの神がかり的ベース・プレイを満喫できる。

No.03 逞しくワイルドなサウンドへ変貌を遂げ、黄金時代の幕開けを告げた記念碑的作品。

ウェザー・リポート

ブラック・マーケット

SICJ 233
1976年作品／Label：Columbia／解説：原田和典
Stereo

2007年DSDマスタリング

1 ブラック・マーケット／2 キャノン・ボール／3 ジブラルタル／4 エレガント・ピープル／5 スリー・クラウンズ／6 バーバリー・コースト／7 ヘランドヌ

ジョー・ザヴィヌル(key)、ウェイン・ショーター(sax)、アルフォンゾ・ジョンソン(b)、ジャコ・パストリアス(b)、ナラダ・マイケル・ウォルデン(ds)、チェスター・トンプソン(ds)、アレックス・アクーニャ(perc)、ドン・アライアス(perc)他
【録音】1975年、1976年 デヴォンショア・サウンド

無敵のジャズ・フュージョン・グループ、ウェザー・リポート黄金時代の幕開けを告げた1976年発表のマスターピース。これまでのスペイシーで浮遊感のある音作りから、より逞しくワイルドなサウンドへ変貌を遂げた記念碑的な作品でもある。タイトル曲や「エレガント・ピープル」など、グループの全歴史を代表する名曲も収録。アルフォンソ・ジョンソンとジャコ・パストリアスという、孤高のベーシストの聴き比べもできる。

No.04 稀代の才人たちが最高潮のコンディションで制作したウェザー・リポートの金字塔。

ウェザー・リポート

ナイト・パッセージ

SICJ 234
1980年作品／Label：Columbia／解説：原田和典
Stereo

2007年DSDマスタリング

1 ナイト・パッセージ／2 ドリーム・クロック／3 ポート・オブ・エントリー／4 フォー・ローン／5 ロッキン・イン・リズム／6 ファスト・シティ／7 スリー・ヴューズ・オブ・ア・シークレット／8 マダガスカル

ジョー・ザヴィヌル(key)、ウェイン・ショーター(sax)、ジャコ・パストリアス(b)、ピーター・アースキン(ds)
ロバート・トーマス Jr.(perc)
【録音】1980年 大阪「ザ・コンプレックス」ライヴ

ジョー・ザヴィヌル、ウェイン・ショーター、ジャコ・パストリアス。唯一無二の才人たちが最高潮のコンディションで制作したウェザー・リポートの金字塔。デューク・エリントンの古典「ロッキン・イン・リズム」のカヴァー、タイトル曲における4ビートの導入など、伝統的ジャズへの原点回帰というべきサウンド作りも大きな話題を集めた。ジャコ畢生の名バラード「スリー・ヴューズ・オブ・ア・シークレット」の初演も収録。

No.05 約5年間続いたジョー、ウェイン、ジャコのコンビネーションを記録した最終アルバム。

ウェザー・リポート

ウェザー・リポート '81

SICJ 235
1982年作品／Label：Columbia／解説：原田和典
Stereo

2007年DSDマスタリング

1 ヴォルケイノ・フォー・ハイアー／2 カレント・アフェアーズ／3 N.Y.C. パート1：41stパラレル～パート2：ザ・ダンス～パート3：クレイジー・アバウト・ジャズ／4 ダラ・ファクター・ワン／5 ホエン・イット・ワズ・ナウ／6 スピーチレス／7 ダラ・ファクター・トゥー

ジョー・ザヴィヌル（key）、ウェイン・ショーター（sax）、ジャコ・パストリアス（b）、ピーター・アースキン（ds）、ロバート・トーマス Jr.（perc）
【録音】1981年 パワー・ステーション、ザ・ミュージック・ルーム、サウンド・キャッスル

約5年間続いたジョー・ザヴィヌル、ウェイン・ショーター、ジャコ・パストリアスのコンビネーションを記録した最終アルバム。ザヴィヌルの驚異的なシンセサイザー・プレイを大きくフィーチャーした作風は、彼がウェザー・リポート解散後に率いた“ザヴィヌル・シンジケート”での音作りを予感させるものがある。「ヴォルケイノ・フォー・ハイアー」、3部構成の大作組曲「N.Y.C.」等、息つくまもないパフォーマンスの連続。

No.06 ウェザー・リポートのポップ&ソウルフルな一面と冒険的な一面が、バランスよく収められた傑作。

ウェザー・リポート

ドミノ・セオリー

SICJ 236
1984年作品／Label：Columbia／解説：原田和典
Stereo

2007年DSDマスタリング

1 キャン・イット・ビィ・ダン／2 D♭ワルツ／3 ペザント／4 プレデター／5 ブルー・サウンド―ノート3／6 スワンプ・キャベッジ／7 ドミノ・セオリー

ジョー・ザヴィヌル（key）、ウェイン・ショーター（sax）、ヴィクター・ベイリー（b）、オマー・ハキム（ds）、ホセ・ロッシー（perc）、カール・アンダーソン（vo）
【録音】1983年、1984年 大阪厚生年金会館、ザ・ミュージック・ルーム、ザ・サウンド・キャッスル

ラスト・ランをひた走るウェザー・リポートが解散2年前の1984年に放った話題作。オープニングを飾る「キャン・イット・ビィ・ダン」では長いグループ活動の中で初めてソロ・シンガー（カール・アンダーソン）をゲストに迎え、語り草となった大阪公演から計3ラックを収録。ウェザー・リポートのポップ&ソウルフルな一面と冒険的な一面が、バランスよく収められた傑作に仕上がった。オマー・ハキムの超絶的なドラムも耳を奪う。

No.07 ライヴ・バンドとしてのウェザー・リポート、その真髄が集約された未発表ライヴ集。

ウェザー・リポート

ライヴ&アンリリースド

SICJ 237～8
2002年作品／Label：Columbia
解説：原田和典
Stereo

2枚組

2002年マスター

Disc-1
1 フリージング・ファイア／2 プラザ・リアル／3 ファスト・シティ／4 トレイシーの肖像／5 エレガント・ピープル／6 キューカンバー・スランバー／7 ティーン・タウン／8 マン・イン・ザ・グリーン・シャツ
Disc-2
1 ブラック・マーケット／2 ホエア・ザ・ムーン・ゴーズ／3 リヴァー・ピープル／4 トゥー・ラインズ／5 シガノ／6 イン・ア・サイレント・ウェイ～ウォーター・フォール／7 ナイト・パッセージ／8 ポート・オブ・エントリー／9 ルンバ・ママ／10 ディレクションズ～Dr. ホノリス・コーザ

ウェイン・ショーター（sax）、ジョー・ザヴィヌル（key）、ジャコ・パストリアス（b）、ヴィクター・ベイリー（b）、アルフォンゾ・ジョンソン（b）、ピーター・アースキン（ds）、オマー・ハキム（ds）、ロバート・トーマス Jr.（perc）、アレックス・アクーニャ（perc）、マノロ・バドレーナ（perc）
【録音】1975～1983年 ライヴ

ライヴ・バンドとしてのウェザー・リポート、その真髄がここに。解散から15年余りを経た2002年に突如リリースされた未発表ライヴ・トラック集。アルフォンソ・ジョンソン、ジャコ・パストリアス、ヴィクター・ベイリーがベースを担当していた1975～83年のパフォーマンスがCD2枚に詰め込まれている。名盤『ジャコ・パストリアスの肖像』収録の人気曲「トレイシーの肖像」のウェザー・リポート・ヴァージョンも超貴重。

No.08 カリスマ的支持を誇るサックス奏者が、ウェザー・リポート解散前に発表した11年ぶりのリーダー作。

ウェイン・ショーター

アトランティス

SICJ 239
1985年作品／Label：Columbia／解説：原田和典
Stereo

1997年リマスター

1 インデンジャード・スピーシーズ／2 ザ・スリー・マリアズ／3 ラスト・シルク・ハット／4 ホエン・ユー・ドリーム／5 フー・ゴーズ・ゼア!／6 アトランティス／7 シェア・カーン、ザ・タイガー／8 クリアンカス／9 オン・ザ・イヴ・オブ・ディパーチャー

ウェイン・ショーター（sax）、アレックス・アクーニャ（perc）、ジム・ウォーカー（fl）、ヤーロン・ジェロフスキー（key）、ラリー・クライン（b）他 【録音】1985年 クリスタル・スタジオ

カリスマ的支持を誇る巨匠サックス奏者が、ウェザー・リポート解散前年にあたる1985年に発表した11年ぶりのリーダー・アルバム。エスペランサ・スポルディングがカヴァーしたことも記憶に新しい「インデンジャード・スピーシーズ」をはじめとする入魂の自作を全9トラック収録。ウェザー・リポートとはひと味もふた味も異なるサウンド・メイキング、説得力あふれるサックスの響きに魅了されること間違いなし!

No.09 キラ星のようなメンバーをバックに、バラエティ豊かなサウンドを展開するコロンビアでの最終作。

ウェイン・ショーター

ジョイ・ライダー

SICJ 240
1988年作品／Label：Columbia／解説：原田和典
Stereo

1992年リマスター

1 ジョイ・ライダー／2 キャセイ／3 オーバー・シャドウ・ヒル・ウェイ／4 アンセム／5 コーズウェイズ／6 デアデビル／7 サムプレイス・コールド“ホエア”

ウェイン・ショーター（sax）、パトリース・ラーシェン（key）、ダリル・ジョーンズ（b）、ハービー・ハンコック（key）、ジュリアン・アレン（key）、ダイアン・リーヴス（vo）他
【録音】87年10月 ロサンゼルス、マッド・ハッタースタジオ

音楽の神秘を探求し続けるワン&オンリーのサックス奏者、ウェイン・ショーターのコロンビア最終リーダー作（1988年）。ネイザン・イースト、ダリル・ジョーンズ、テリ・リン・キャリントンなどキラ星のようなメンバー（リリース当時は皆、将来を嘱望される若手だった）をバックに、ジャンル分け不要のサウンドを展開する。「サムプレイス・コールド“ホエア”」では、メジャー・デビュー直後のダイアン・リーヴスの歌唱をフィーチャー。

No.10 真の天才たちが繰り広げる技の応酬に心躍る、スーパー・ユニットによる貴重なアルバム。

トリオ・オブ・ドゥーム（ジョン・マクラフリン、ジャコ・パストリアス、トニー・ウィリアムス）

トリオ・オブ・ドゥーム

SICJ 241
2007年作品／Label：Columbia／解説：原田和典
Stereo
2007年マスター

1 ドラム・インプロヴィゼイション／**2** ダーク・プリンス／**3** コンティニューム／**4** パラ・オリエンテ／**5** アー・ユー・ザ・ワン？／**6** ダーク・プリンス／**7** コンティニューム／**8** パラ・オリエンテ（オルタネイト・テイク1）／**9** パラ・オリエンテ（オルタネイト・テイク2）／**10** パラ・オリエンテ

ジョン・マクラフリン（g）、ジャコ・パストリアス（b）、トニー・ウィリアムス（ds）
【録音】1979年 ハバナ カール・マルクス・シアター、ニューヨーク CBS スタジオ

ワン・トゥルース・バンドを率いていた頃のジョン・マクラフリン、ウェザー・リポート在籍中のジャコ・パストリアス、ニュー・ライフタイムを軌道に乗せていた頃のトニー・ウィリアムスが集まったスーパー・ユニットによる貴重な単独アルバム。唯一のライヴ・ステージとなったキューバ・ハバナでの演奏に加え、ニューヨークにおけるスタジオ・レコーディングも収録されている。真の天才たちが繰り広げる技の応酬には嘆然とさせられるばかり。

No.11 東洋思想やコルトレーンの影響などを始めとして、多くの共通点を持つ二大ギタリストによる共演盤。

ジョン・マクラフリン＆カルロス・サンタナ

魂の兄弟たち

SICJ 242
1973年作品／Label：Columbia／解説：石沢功治
Stereo
2003年リマスター

1 至上の愛／**2** ネイマ／**3** 神聖なる生命／**4** 神の園へ／**5** 瞑想〈ボーナス・トラック〉**6** 至上の愛（オルタネイト・テイク2）／**7** ネイマ（オルタネイト・テイク4）

カルロス・サンタナ（g）、ジョン・マクラフリン（g, p）、ビリー・コブハム（ds）、アーマンド・ペラーザ（perc）他

インド音楽、東洋思想に共鳴し、シュリ・チンモイ師に教えを受け、ジョン・コルトレーンの音楽に啓示を受けるなど、数多くの共通点を持つ二大ギタリストによる共演盤。コルトレーンの楽曲から「至上の愛」や「ネイマ」をカヴァー、ツイン・ギターによるスピリチュアルな音作りは、ロック・ファンとジャズ・ファンの双方に感銘を与えた。マイルス・デイビス『ビッチェズ・ブリュー』にも参加していたカリッド・ヤシン（ラリー・ヤング）のプレイも貴重。

No.12 鬼才ギタリスト、ジョン・マクラフリン率いる超絶技巧集団による衝撃のファースト・アルバム。

ジョン・マクラフリン＆マハヴィシュヌ・オーケストラ

内に秘めた炎

SICJ 243
1971年作品／Label：Columbia／解説：石沢功治
Stereo
2006年リマスター

1 精霊の出会い／**2** 夜明け／**3** ザ・ヌーンワード・レース／**4** 伝説の樹ロータス／**5** ヴァイタル・トランスフォーメーション／**6** ザ・ダンス・オブ・マヤ／**7** ユー・ノウ、ユー・ノウ／**8** 目覚め

ジョン・マクラフリン（g）、ヤン・ハマー（p）、ジェリー・グッドマン（vln）、リック・レアード（b）、ビリー・コブハム（ds）
【録音】1971年 ニューヨーク

英国出身の鬼才ギタリスト、ジョン・マクラフリン率いる超絶技巧集団“マハヴィシュヌ・オーケストラ”による衝撃のファースト・アルバム。ジャズとロックを融合し、インド音楽の要素も加えた音作りは唯一無二。ビリー・コブハムのドラムスに煽られ、マクラフリン、ヤン・ハマー、ジェリー・グッドマンらのハイテンションなプレイが冴えわたる。そのサウンドは70年代の音楽シーンに大きなショックを与え、今なお強烈なインパクトで聴き手に迫る。

No.13 第1期マハヴィシュヌ・オーケストラの集大成というべき、ニューヨークでのライヴ・レコーディング。

ジョン・マクラフリン・ウィズ・マハヴィシュヌ・オーケストラ

虚無からの飛翔

SICJ 244
1973年作品／Label：Columbia／解説：石沢功治
Stereo
1991年リマスター

1 トリロジー（悲の3部曲）　a）輝ける径～b）海の聖母～c）永遠伝説／**2** シスター・アンドレア／**3** ドリーム

ジョン・マクラフリン（g）、ヤン・ハマー（p）、ジェリー・グッドマン（vln）、リック・レアード（b）、ビリー・コブハム（ds）
【録音】1973年 ニューヨーク セントラル・パーク

語り草のユニットが、燃え尽きる寸前の輝きを放つ。第1期マハヴィシュヌ・オーケストラの集大成というべき、ニューヨーク「セントラル・パーク」でのライヴ・レコーディング。「トリロジー（悲の3部曲）」を含むプログラムは、すべて長尺のナンバーばかり。ジョン・マクラフリン、ヤン・ハマー、ビリー・コブハムら、ジャズ～フュージョンきっての超絶技巧派たちが一丸となって入魂のプレイを繰り広げる。

No.14 未発表に終わっていた1973年録音の伝説のスタジオ・セッションが待望の再登場。

ジョン・マクラフリン＆マハヴィシュヌ・オーケストラ

ザ・ロスト・トライデント

SICJ 245
1999年作品／Label：Columbia／解説：石沢功治
Stereo
1999年マスター

1 ドリーム／**2** トリロジー（悲の3部曲）／**3** シスター・アンドレア／**4** アイ・ワンダー／**5** ステッピングス・トーンズ／**6** ジョンズ・ソング#2

ジョン・マクラフリン（g）、ヤン・ハマー（key）、ジェリー・グッドマン（vln）、リック・レアード（b）、ビリー・コブハム（ds）
【録音】1973年6月 ロンドン トライデント・スタジオ

第1期マハヴィシュヌ・オーケストラのサード・アルバム用に録音されながら、1999年まで未発表に終わっていた伝説のスタジオ・セッション（1973年録音）が待望の再登場。『内に秘めた炎』（1971年）、『火の鳥』（1973年）からさらに発展と飛躍をとげたジョン・マクラフリン、ヤン・ハマー、ビリー・コブハムらのせめぎあいが熱い。ライヴ盤『虚無からの飛翔』で話題を集めた大作「トリロジー（悲の3部曲）」の初演も収録。

No.15 ジャック・ディジョネットを中心とする幻のユニット“コンポスト”による1972年の作品。ファンク～アフロ～フリー・ジャズを横断する雄大なサウンドを展開。

コンポスト

テイク・オフ・ユア・ボディ

SICJ 246
1972年作品／Label：Columbia／解説：原田和典
Stereo
2010年リマスター　日本初CD化

1 テイク・オフ・ユア・ボディ／**2** シンキン／**3** ブワータ／**4** ハッピー・ピース／**5** カントリー・ソング／**6** スウィート・ベリー・ワイン／**7** ファンキー・フィート／**8** インフレーション・ブルース

ボブ・モーゼス（ds, vo）、ジャック・グレッグ（b）、ハロルド・ヴィック（ts, fl）、ジャック・ディジョネット（clavinet, vib, organ, ds）、ジュマ・サントス（perc, congas）
【録音】1971年

マイルス・デイビス・バンド脱退後のジャック・ディジョネットを中心とする幻のユニット“コンポスト”による1972年の作品。マイルス『ビッチェズ・ブリュー』での共演仲間でもあったジュマ・サントス（ジム・ライリー）、元ゲイリー・バートン・バンドのボブ・モーゼスらを迎え、ファンク～アフロ～フリー・ジャズを横断する雄大なサウンドを展開する。名曲「インフレーション・ブルース」収録。

No.16 ジャック・ディジョネットを中心とするユニット" コンポスト "の第2弾にしてラスト・アルバム。前作に比べ、よりR&B～ソウル色を強めたサウンドを聴かせる好盤。

コンポスト

ライフ・イズ・ラウンド

SICJ 247
1973年作品／Label：Columbia／解説：原田和典
Stereo

2010年リマスター　日本初CD化

1 セヴンス・ビリオド／**2** ムーンソング／**3** コンポスト・フェスティヴァル／**4** ザ・リッパー／**5** バザード・フェザーズ／**6** チェンジング・ストリームス／**7** モン・チェリー・ポプシクール／**8** レストレス・ウェイヴ／**9** ライフ・イズ・ラウンド

ボブ・モーゼス(ds, clavinet, organ, vib)、ジャック・ダレック(b)、ハロルド・ヴィック(sax, fl)、ジャック・ディジョネット(ds, clavinet, organ, p)、ジュマ・サントス(ds, perc, congas)、エド・フィニー(g)、ローランド・プリンス(g)他
【録音】1973年

マハヴィシュヌ・オーケストラ、リターン・トゥ・フォーエヴァーとほぼ同時期に誕生しながら、短期間で活動に終止符を打った" コンポスト "の第2弾にしてラスト・アルバム。前作『テイク・オフ・ユア・ボディ』よりもR&B～ソウル色を強め、ポップな側面を強調、ジーン・リーや人気R&Bシンガーのルー・コートニーの歌声もフィーチャー。中心人物のジャック・ディジョネットもドラム、作曲、キーボードとすべてで才能を発揮する。

No.17 これぞ西海岸フュージョン・サウンド! ジェフ・ポーカロ他、錚々たるミュージシャンが大挙参加した、AORの名盤としても知られるグルーヴィーな作品。

トム・スコット

ストリート・ビート

SICJ 248
1979年作品／Label：Columbia／解説：村井康司
Stereo

1999年DSDマスタリング

1 ストリート・ビート／**2** グリード／**3** カム・クローサー・ベイビー／**4** ヘッディング・ホーム／**5** カー・ウォーズ／**6** ウィ・キャン・フライ／**7** ギヴ・ミー・ユア・ラヴ／**8** シェイクダウン

トム・スコット(sax, Lyricon)、ジェフ・ポーカロ(ds)、ニール・スチェーベンハウス(b)、バジー・フェイトン(g)、カルロス・リオス(g)、ドン・グルーシン(key)、ニール・ラーセン(key)、ラルフ・マクドナルド(perc)他
【録音】1979年 サンタモニカ

LAフュージョンの最重要サックス奏者、トム・スコットが持ち前のポップ・センスを注ぎ込んだヒット・アルバム。TOTOのドラマー、ジェフ・ポーカロ、ギタリストのカルロス・リオスを全面的にフィーチャーし、ロック、ポップ、ファンク、R&Bなどさまざまな要素を取り込んだ痛快なサウンドを展開。EWI(Electric Wind Instrument)の原型というべき吹奏型シンセサイザー、" リリコン "も高らかに響きわたる。

No.18 西海岸を代表するサックス奏者トム・スコットが、マーカス・ミラー、スティーヴ・ガッドらニューヨークの精鋭たちと繰り広げた会心のパフォーマンス!

トム・スコット

アップル・ジュース

SICJ 249
1981年作品／Label：Columbia／解説：村井康司
Stereo

1999年DSDマスタリング

1 アップル・ジュース／**2** ゴナ・ドゥ・イット・ライト／**3** ウィ・ビロング・トゥゲザー／**4** ソー・ホワイト・アンド・ソー・ファンキー／**5** ゲッティン・アップ／**6** イン・マイ・ドリーム／**7** インスタント・レリーフ

トム・スコット(sax)、リチャード・ティー(key)、エリック・ゲイル(g)、ヒュー・マクラッケン(g)、マーカス・ミラー(b)、スティーヴ・ガッド(ds)、ラルフ・マクドナルド(perc)、ドクター・ジョン(vo)
【録音】1981年1月 ニューヨーク「ボトムライン」ライヴ

西海岸の伝説的ユニット、L.A.エクスプレスでジョニ・ミッチェルやジョージ・ハリスンらをサポート。" アメリカで一番多忙なサックス奏者 "とトム・スコットが、ニューヨークのライヴハウスで繰り広げた会心のパフォーマンス。当時マイルス・デイビス・バンドのメンバーであったマーカス・ミラー " スタッフ "のリチャード・ティーやスティーヴ・ガッドら、最高のミュージシャンを従えて熱演する。ドクター・ジョンのゲスト参加も聴き逃せない。

レジェンド・オブ・クロスオーヴァー&フュージョン 02

トム・スコット
Tom Scott

高名な映画音楽家ネイザン・スコットを父に持ち、10代半ばから演奏活動を開始。テナー、アルト、ソプラノなど各種サックスの名手であるだけでなく、吹奏型シンセサイザー＝リリコン(EWIの原型)にもいち早く取り組み、1973年に結成した"L.A.エクスプレス"ではジョニ・ミッチェルやジョージ・ハリスンのサポートも務めた。これまで14回グラミー賞にノミネート、3度の受賞に輝いている。

No.19 ジャジー&ブルージー! ハート・ウォーミングなゲイル節が響きわたる傑作ギター・アルバム。

エリック・ゲイル

パート・オブ・ユー

SICJ 250
1979年作品／Label：Columbia／解説：佐藤英輔
Stereo

2003年DSDマスタリング

1 レット・ミー・スリップ・イット・トゥ・ユー／**2** パート・オブ・ユー／**3** トリオ／**4** ルッキン・グッド／**5** ねずみ／**6** ホールディング・オン・トゥ・ラヴ

エリック・ゲイル(g)、スティーヴ・ガッド(ds)、ハーヴィー・メイソン(ds)、アンソニー・ジャクソン(b)、リチャード・ティー(p)、チャールズ・アーランド(organ)、グローヴァー・ワシントン Jr.(sax)、ラルフ・マクドナルド(perc)他
【録音】1978～1979年 ニューヨーク

伝説のグループ" スタッフ "でコーネル・デュプリーと共にギタリストを務めた名手エリック・ゲイルの、コロンビア第3弾にして代表作。2年後にグローヴァー・ワシントン Jr. の『ワインライト』を大ヒットさせるプロデューサー／パーカッション奏者のラルフ・マクドナルドをパートナーに迎え、これぞニューヨーク・フュージョンというべきスタイリッシュでファンキーな音作りを展開。スティーヴ・ガッド、リチャード・ティー、チャールズ・アーランドらが参加。

No.20 ニューオリンズの巨星、アラン・トゥーサンと組んだ話題作。一聴でゲイルとわかるギター・サウンドと濃密なファンクの融合が新たな魅力を開花させた。

エリック・ゲイル

タッチ・オブ・シルク

SICJ 251
1980年作品／Label：Columbia／解説：佐藤英輔
Stereo

2003年DSDマスタリング

1 ユー・ゴット・マイ・ライフ・イン・ユア・ハンズ／**2** タッチ・オブ・シルク／**3** ウォー・ペイント／**4** ワンス・イン・ア・スマイル／**5** ウィズ・ユー・アイム・ボーン・アゲイン／**6** オー・ブリヴァーヴ／**7** 愛に生きて

エリック・ゲイル(g)、アラン・トゥーサン(p, key)、デヴィッド・バラード(b)、ジェイムス・ブラック(ds)、アーサー・プライス(sax)、グローヴァー・ワシントン Jr.(sax)、チャールズ・アーランド(organ)他
【録音】1980年 ニューオリンズ

ニューオリンズ産ファンクの名匠アラン・トゥーサンが、プロデュースと大半の作曲を担当したユニークな作品。爽快なフュージョン・サウンドから南部風味の濃厚なファンク、さらに当時、目覚ましい注目を集めていたアルト・サックス奏者アーサー・プライスと組んだチャーリー・パーカーのカヴァー「オー・ブリヴァーヴ」まで、職人的ギター奏者エリック・ゲイルの技のすべてが味わえるといっても過言ではない内容。

No.21

スティーヴ・ガッド&ウィル・リーの強力リズム隊をはじめ、超一流ミュージシャンと繰り広げた70年代フュージョンを代表するギター名盤!

スティーヴ・カーン

アロウズ

SICJ 252
1979年作品／Label：Columbia／解説：石沢功治
Stereo

1999年DSMマスタリング

1 シティ組曲　パート1：シティ・モンスターズ〜パート2：ドリーム・シティ／2 キャンドルズ／3 デイリー・ヴィレッジ／4 サム・アロウズ／5 コーリング

スティーヴ・カーン(g)、ジェフ・ミロノフ(g)、スティーヴ・ガッド(ds)、ランディ・ブレッカー(tp)、マイケル・ブレッカー(sax)、デイヴィッド・サンボーン(sax)、ウィル・リー(b)他
【録音】1979年 ニューヨーク

『タイトロープ』、『ザ・ブルー・マン』に続くコロンビア3部作のラストを飾る傑作。ブレッカー・ブラザーズ、デイヴィッド・サンボーン、ウィル・リー、スティーヴ・ガッドら、ニューヨークのファースト・コール・ミュージシャンたちを中心に、多彩でソリッドなフュージョン・サウンドを満喫させてくれる。カーンの変幻自在なギター・プレイと、サンボーンの官能的なアルト・サックスが掛け合いを繰り広げる「コーリング」は永遠の名演!

No.22

フュージョン・シーンの二大巨頭が組んだスーパー・ユニットが、80年代的デジタル・サウンドとの融合を図った2ndアルバム。

クラーク・デューク・プロジェクト

II

SICJ 253
1983年作品／Label：Epic／解説：金澤寿和
Stereo

2008年リマスター

1 プット・イット・オン・ザ・ライン／2 ヒーローズ／3 トライ・ミー・ベイビー／4 エヴリ・リーズン・トゥ・スマイル／5 グレート・デーン／6 ザ・グッド・タイムズ／7 ユーアー・ゴナ・ラヴ・イット／8 トリップ・ユー・イン・ラヴ／9 アトランタ

スタンリー・クラーク(b, vo)、ジョージ・デューク(key, vo)、ジョン・ロビンソン(ds)、ナラダ・マイケル・ウォルデン(ds)、ビリー・コブハム(ds)、ジェフリー・オズボーン(vo)、ハワード・ヒューイット(vo)他

「スウィート・ベイビー」のヒットで知られるフュージョン界の人気プレイヤー、スタンリー・クラークとジョージ・デュークが組んだ黄金プロジェクト第2弾。音作りはさらにポップ&ファンキーになり、ドラム・マシーンの大胆な使用も話題を集めた。2人は楽器の演奏だけではなくリード・ヴォーカルも担当。さらにハワード・ヒューイットやジェフリー・オズボーンら錚々たるバック・ヴォーカル陣の充実ぶりにも要注目だ。このアルバムからはヒット曲「ヒーローズ」が生まれた。

No.23

24歳の若きスーパー・ベーシストがその独創性を開花させた初期の傑作! チック・コリア、レニー・ホワイト、ジェフ・ベック、そしてジョージ・デュークが参加。

スタンリー・クラーク

ジャーニー・トゥ・ラヴ

SICJ 254
1975年作品／Label：Epic／解説：石沢功治
Stereo

1999年リマスター

1 シリー・パティ／2 ジャーニー・トゥ・ラヴ／3 ハロー・ジェフ／4 ジョン・コルトレーンに捧げる歌(Part I)／5 ジョン・コルトレーンに捧げる歌(Part II)／6 ジャズとロック・オーケストラのためのコンチェルト：パートI／パートII／パートIII／パートIV

スタンリー・クラーク(b)、ジェフ・ベック(g)、ジョン・マクラフリン(g)、チック・コリア(p)、ジョージ・デューク(key)、レニー・ホワイト(ds)、スティーヴ・ガッド(ds)他
【録音】1975年 ニューヨーク

まだ24歳だったにもかかわらず、天才ベース・プレイヤーと注目されていたスタンリー・クラークが、あのリターン・トゥ・フォーエヴァー(RTF)在籍中にリリースしたソロ第3弾。RTFの仲間であるチック・コリア、レニー・ホワイトとの息の合った共演はもちろんのこと、ロック・ギターの神様ジェフ・ベック、後にクラーク・デューク・プロジェクトを組むジョージ・デュークとの初共演レコーディングが収められている点も見逃せない。

レジェンド・オブ・クロスオーヴァー&フュージョン 03

スタンリー・クラーク

Stanley Clarke

エレクトリック・ベースとアコースティック・ベースの双方を高レベルで弾きこなす、“元祖”といえる存在。70年代初頭にチック・コリアの“リターン・トゥ・フォーエヴァー”やファラオ・サンダースのバンドで頭角を現し、キース・リチャーズやジェフ・ベック等、ロック畑のミュージシャンとの共演も多い。2017年5月には自身のユニットで来日、さらに磨きのかかった超絶技巧で観客を熱狂させた。

No.24

重低音が轟く! アグレッシヴに活動を続けるスーパー・ベーシスト、スタンリー・クラークが残した未来志向のブラック・コンテンポラリー・アルバムがこれだ。

スタンリー・クラーク

タイム・エクスポージャー

SICJ 255
1984年作品／Label：Epic／
解説：石沢功治
Stereo

2013年リマスター

1 プレイ・ザ・ベース・10・キューブ／2 アー・ユー・レディ／3 スピードボール／4 ヘヴン・セント・ユー／5 タイム・エクスポージャー／6 フューチャー・ショック／7 フューチャー／8 スペースランナー／9 アイ・ノウ・ジャスト・ハウ・ユー・フィール

〈ボーナス・トラック〉

10 ヘヴン・セント・ユー(12”Mix)／11 ヘヴン・セント・ユー(7”Mix)／12 アー・ユー・レディ(12”Mix)／13 スピードボール(12”Mix)／14 フューチャー(12”Mix)

スタンリー・クラーク(b, vo, key)、ジェフ・ベック(g)、ルイス・ジョンソン(b)、ジョージ・デューク(key)、ハワード・ヒューイット(vo)、P・ファンク・オールスターズ・ホーンズ(horns)他
【録音】ロサンゼルス

クラーク・デューク・プロジェクトなど多面的な活動を続けるスーパー・ベーシスト、スタンリー・クラークが残した最上級のブラック・コンテンポラリー・アルバム。盟友ジョージ・デューク、ジェフ・ベックら多彩なミュージシャンたちに加え、シャラマーのハワード・ヒューイットをリード・ヴォーカルに起用。スタンリーは豪快なソロやメロディアスなベース・プレイだけでなく、ヴォーカルやキーボードでも才能を存分に発揮している。

No.25

エピックへの移籍第一弾！ 歌モノ濃度を高め、本格的にメジャー・シーンに打って出た記念すべきアルバム。

ジョージ・デューク

フロム・ミー・トゥ・ユー

SICJ 256
1977年作品／Label：Epic／解説：金澤寿和
Stereo

2014年リマスター

1 フロム・ミー・トゥ・ユー／**2** キャリー・オン／**3** 何を恐れているのか？／**4** エクスキューズ・ミー・ミス／**5** ユー・アンド・ミー／**6** ブロークン・ドリームズ／**7** アップ・オン・イット／**8** シーズンズ／**9** ダウン・イン・イット／**10** シング・イット

ジョージ・デューク(key, vo)、レオン・ンドゥグ・チャンクラー(ds)、バイロン・ミラー(b)、スタンリー・クラーク(b)、ウォルト・フォウラー(tp)、ダイアン・リーヴス(vo)他

2013年8月に亡くなった名キーボード奏者/プロデューサー、ジョージ・デュークのエピック移籍第一弾アルバム。後年“ クラーク・デューク・プロジェクト ”を共に結成する盟友スタンリー・クラーク、フランク・ザッパ・バンドの同僚であったトランペット奏者ウォルト・フォウラーなど、選りすぐりのミュージシャンが一丸となってファンキー&メロウなサウンドを演出する。従姉妹でもある当時20歳のダイアン・リーヴスが歌う人気曲「ユー・アンド・ミー」も収録。

No.26

キャリア最大のヒット「リーチ・フォー・イット」収録！ ジャズ、ファンク、ブラジルなど、その後のクロスオーヴァーな快進撃の第一歩となった重要作。

ジョージ・デューク

リーチ・フォー・イット

SICJ 257
1977年作品／Label：Epic／解説：金澤寿和
Stereo

2014年リマスター

1 ザ・ビギニング／**2** レミ・アット・イット／**3** ホット・ファイヤー／**4** リーチ・フォー・イット／**5** ジャスト・フォー・ユー／**6** Ómi(フレッシュ・ウォーター)／**7** サーチン・マイ・マインド／**8** ウォッチ・アウト・ベイビー／**9** ダイアモンズ／**10** ジ・エンド
〈ボーナス・トラック〉**11** ブリング・イット・オン・ホーム

ジョージ・デューク(key, vo)、レオン・ンドゥグ・チャンクラー(ds)、チャールズ・イカルス・ジョンソン(g)、マイケル・センペロ(g)、バイロン・ミラー(b)、スタンリー・クラーク(b)、マノロ・バドレーナ(perc)、フローラ・プリム(vo)、ジーン・カーン(vo)他

常に時代の先を行くサウンドを繰り広げたキーボード奏者、ジョージ・デュークが1977年にリリースした飛び切りのパーティ・アルバム。レオン・チャンクラー＆バイロン・ミラーの鉄壁のリズム隊を軸に、盟友スタンリー・クラーク、ウェザー・リポートの打楽器奏者マノロ・バドレーナ、ブラジルの名トロンボーン奏者ラウル・ジ・スーザらを迎え、多彩なリズムを前面に押し出している。タイトル曲「リーチ・フォー・イット」がシングル・カットされ、R&Bチャート2位を記録。

No.27

アーバン・ソウル／ファンクからラテン濃度の高いフュージョンまで、雑多な音楽性を力強くまとめ上げた快作！
ヘヴィー・ファンク名曲「デューキー・スティック」収録。

SICJ 258
1978年作品／Label：Epic
解説：金澤寿和
Stereo

2014 年リマスター

ジョージ・デューク

ドント・レット・ゴー

1 ウィ・ギヴ・アワ・ラヴ／**2** モーニング・サン／**3** パーカッション・インタールード／**4** デューキー・スティック／**5** スターティング・アゲイン／**6** Yeah, ウィ・ゴーイング／**7** ザ・ウェイ・アイ・フィール／**8** ムーヴィン・オン／**9** ドント・レット・ゴー／**10** プリフェイス／**11** ザ・フューチャー
〈ボーナス・トラック〉
12 デューキー・スティック Pt.1／**13** デューキー・スティック Pt.2／**14** デューキー・スティック(12 ” Ver.)

ジョージ・デューク(key, vo)、レオン・ンドゥグ・チャンクラー(ds)、バイロン・ミラー(b)、ローランド・バウティスタ(g)、チャールズ・イカルス・ジョンソン(g)、ワー・ワー・ワトソン(g)、シーラ・エスコヴェード(perc)、ジョシー・ジェイムズ(vo)、ナポレオン・マーフィ・ブロック(vo)他
【録音】1978年3月 ロサンゼルス

レオン・チャンクラーとバイロン・ミラーの鉄壁のリズム隊を軸に、フランク・ザッパのバンドで共演経験のあるナポレオン・マーフィ・ブロック、スティーヴィー・ワンダーのコーラスを務めたジョシー・ジェイムズをヴォーカリストに起用。他にも元アース・ウィンド&ファイアーのローランド・バウティスタ、当時18歳だった天才パーカッション奏者シーラ・Eにも存分に活躍の場を与えた傑作。ファンク名曲として名高い「デューキー・スティック」はR&Bチャート4位を記録。

No.28

光の守護神をテーマに描いたデューク版スペース・ファンタジー大作！ ルイス・ジョンソン、ジョン・ロビンソン、ジェリー・ヘイら、総勢百名以上のミュージシャンが参加。

ジョージ・デューク

ライト・メッセージ

SICJ 259
1983年作品／Label：Epic／解説：金澤寿和
Stereo

2014年リマスター

1 オーヴァーチャー／**2** ライト／**3** シェイン／**4** ボーン・トゥ・ラヴ・ユー／**5** シリー・ファイティン／**6** ユー／**7** 戦争フーガ間奏曲／**8** リーチ・アウト／**9** ギヴ・ミー・ユア・ラヴ／**10** スタンド／**11** スーン／**12** セレブレイト／**13** 飛翔
〈ボーナス・トラック〉**14** リーチ・アウト(12 ” Version)

ジョージ・デューク(p, key, vo)、ジョン・ロビンソン(ds)、レオン・ンドゥグ・チャンクラー(ds)、ルイス・ジョンソン(b)、バイロン・ミラー(b)、マイケル・センペロ(g)、パウリーニョ・ダ・コスタ(perc)、ジェリー・ヘイ(tp)他
【録音】ロサンゼルス

映画『スター・ウォーズ』に刺激を受け、自ら創作した〈善と悪が闘うSFファンタジー〉のサウンドトラックという位置付けのアルバム。音楽家として最先端の電子機器と、ジェリー・ヘイ率いるホーン・セクションで華やかに彩られたスケールの大きなサウンドに仕上げられている。P-ファンクの諸作や、レニー・ホワイトの『ヘヴィー・メタル・ファンタジー』と並び称される、スーパー・コズミック・ファンクの名作といわれている。パティ・オースティン、ジェフリー・オズボーンがコーラスとして参加。

No.29

フルートの魔術師、ヒューバート・ロウズが盟友ボブ・ジェームスをアレンジャーに迎え、クラシック・ナンバーからバリー・マニロウの人気曲までをカヴァー。

ヒューバート・ロウズ

ロミオとジュリエット

SICJ 260
1976年作品／Label：Columbia／解説：原田和典
Stereo

2017年リマスター　日本初CD化

1 アンディサイデッド／**2** トライン・トゥ・ゲット・ザ・フィーリング・アゲイン／**3** フォルラーヌ／**4** ロミオとジュリエット／**5** ホワット・アー・ウィー・ゴナ・ドゥ？／**6** グアテマラ・コネクション

ヒューバート・ロウズ(fl)、ボブ・ジェームス(p, clavinet)、マーク・グレイ(clavinet)、ゲイリー・キング(b)、スティーヴ・ガッド(ds)、アンディ・ニューマーク(ds)、バリー・フィナティ(g)、エリック・ゲイル(g)、リッチー・レスニコフ(g)、スティーヴ・カーン(g)他
【録音】1976年

70年代前半、CTIレーベルから数々のヒット作をリリースした“ フルートの魔術師 ”によるColumbia移籍第一弾。CTI時代からの盟友ボブ・ジェームスをアレンジャーに迎え、スティーヴ・ガッド、エリック・ゲイル、ラルフ・マクドナルドらがカラフルなリズム面を送り出している。チャイコフスキーのタイトル曲などクラシック・ナンバーのフュージョン化から、バリー・マニロウの人気曲のカヴァーまで、ロウズのフルートが冴えわたる。

No.30

フルートの冒険家ヒューバート・ロウズと、アコースティック・ギターの求道者アール・クルーが共演した貴重なアルバムが遂に日本初CD化。

ヒューバート・ロウズ&アール・クルー

ハウ・トゥ・ビート・ザ・ハイ・コスト・オブ・リヴィング

SICJ 261
1980年作品／Label：Columbia／解説：村井康司
Stereo

2013年リマスター　日本初CD化

1 ダウン・リヴァー／**2** ナイト・ムーヴス／**3** ピッコロ・ブギ／**4** ドリーム・サムシング／**5** イッツ・ソー・イージー・ラヴィング・ユー／**6** ジ・エッジ／**7** ザ・ケイパー／**8** レディー・トゥ・ラン／**9** ザ・スキャフル／**10** ソング・フォー・ア・プリティ・ガール

ヒューバート・ロウズ（fl）、アール・クルー（g）、ニール・スチューベンハウス（b）、スティーヴ・シェーファー（ds）、ミッチ・ホルダー（g）、ティム・メイ（g）、マイク・ラング（key）、パウリーニョ・ダ・コスタ（perc）
【録音】1980年

フルートの冒険家ヒューバート・ロウズと、アコースティック・ギターの求道者アール・クルー。クロスオーヴァー～フュージョンを象徴するふたりが1980年に残した貴重な共演盤が遂に日本初CD化。コメディ映画『How to Beat the High Cost of Living』（日本未公開）のサウンドトラックだが、演奏の熱気と迫力は彼らのリーダー・アルバムとまったく変わることがない。ロウズのハイ・テクニックが炸裂する「ピッコロ・ブギ」は圧巻！

No.31

技巧派トランペットの最高峰、メイナード・ファーガソンが本格的にクロスオーヴァー～フュージョン・サウンドに取り組んだ記念碑的一枚。

メイナード・ファーガソン

プライマル・スクリーム

SICJ 262
1976年作品／Label：Columbia／解説：村井康司
Stereo

2013年リマスター　日本初CD化

1 プライマル・スクリーム／**2** ザ・チェシャ・キャット・ウォーク／**3** インヴィテーション／**4** パリアッチ／**5** スワンプ

メイナード・ファーガソン（tp）、スティーヴ・ガッド（ds）、ゲイリー・キング（b）、エリック・ゲイル（g）、ボブ・ジェームス（p, synth, clavinet）、デイヴィッド・サンボーン（as）、ジョー・ファレル（ts）、ボビー・ミリテロ（bs, fl）ラルフ・マクドナルド（perc）他
【録音】1975年8～10月

1940年代から活動する技巧派トランペットの最高峰、メイナード・ファーガソンが本格的にクロスオーヴァー～フュージョン・サウンドに取り組んだ記念碑的一枚。当時、新世代アレンジャーのトップを走っていたボブ・ジェームスを音楽監督に迎え、代名詞ともいえるハイノート（超高音）による吹奏をふんだんに披露。1977年リリースの大ヒット作、『征服者（ロッキーのテーマ）』の前哨戦としても聴き逃すことはできない。

No.32

超人的なハイノート・プレイヤー、メイナード・ファーガソンが1974年にリリースした人気盤。ハービー・ハンコックやスティーヴィー・ワンダー等の名曲をカヴァー。

メイナード・ファーガソン

カメレオン

SICJ 263
1974年作品／Label：Columbia／解説：村井康司
Stereo

2003年リマスター

1 カメレオン／**2** ゴスペル・ジョン／**3** 追憶／**4** ジェット／**5** ラ・フィエスタ／**6** アイ・キャント・ゲット・スターテッド／**7** リヴィン・フォー・ザ・シティ／**8** スーパーボーン・ミーツ・ザ・バッド・マン

メイナード・ファーガソン（tp, tb, horn, vo）、リック・ペトロン（b）、アラン・ザヴォヅ（p）、ダン・ディンペリオ（ds）、スタン・マーク（tp, fh）、デニス・ノディ（tp, fh）、アンディ・マッキントッシュ（as, ss, fl, cowbell）、ブライアン・スミス（ts, fl, tambourine）、ブルース・ジョンストン（bs, fl, vibraslap）他
【録音】1974年 ニューヨーク

超人的なハイノート・プレイで不滅の支持を得る“トランペットのチャンピオン”、メイナード・ファーガソンが1974年にリリースした人気盤。ハービー・ハンコック作のタイトル曲、ポール・マッカートニー&ウイングスの「ジェット」、チック・コリアの「ラ・フィエスタ」、スティーヴィー・ワンダーの「リヴィン・フォー・ザ・シティ」等の人気曲を、ファンキーなビッグ・バンド・サウンドで聴かせる。プラス・ロック・ファンにもお薦めしたい一作。

No.33

ジャズ・ヴィブラフォンの名手ハッチャーソンのコロンビア移籍第一弾。ワン&オンリーの美しい音色を存分に披露したメロウなアルバムに仕上がっている。

ボビー・ハッチャーソン

ハイウェイ・ワン

SICJ 264
1978年作品／Label：Columbia／解説：原田和典
Stereo

2017年リマスター　日本初CD化

1 シークレッツ・オブ・ラヴ／**2** ブーケ／**3** ハイウェイ・ワン／**4** スウィート・リタ・スイート（パート2）／**5** サークル／**6** シークレッツ・オブ・ラヴ（リプライズ）

ボビー・ハッチャーソン（vib）、ジェイムス・リーリ（b）、エディ・マーシャル（ds）、ジョージ・ケイブルス（p）、シダー・ウォルトン（p）、ヒューバート・ロウズ（fl）、フレディ・ハバード（flh）、ケネス・ナッシュ（perc）、ジェシカ・クリーヴス（vo）
【録音】1978年5～6月

激動の1960年代にジャズ・ヴィブラフォン界をゲイリー・バートンと二分した名手ハッチャーソンが、コロンビア移籍第一弾として放ったメロウなアルバム。フレディ・ハバード、ヒューバート・ロウズなど強力なメンバーを迎え、ワン&オンリーの美しい音色を存分に披露する。「ブーケ」など旧作の新アレンジ・ヴァージョンはもちろん、当時めざましい注目を集めていたピアノ奏者ジョージ・ケイブルスが提供した4曲も大きな聴きもの。

No.34

ヴィブラフォンのトップランナー、ボビー・ハッチャーソンのコロンビア最終作。ラテン～フュージョン色を強めたパフォーマンスで魅了する。

ボビー・ハッチャーソン

ウン・ポコ・ロコ

SICJ 265
1980年作品／Label：Columbia／解説：原田和典
Stereo

2017年リマスター　日本初CD化

1 ザ・セイラーズ・ソング／**2** シルヴァー・ホロウ／**3** ウン・ポコ・ロコ／**4** ラヴ・ソング／**5** アイヴォリー・コースト／**6** エボニー・ムーンビームス／**7** アイ・ワナ・スタンド・オヴァー・ゼア

ボビー・ハッチャーソン（vib, marimba）、ジョージ・ケイブルス（p）、ジョン・アバークロンビー（g）、チャック・ドマニコ（b）、ピーター・アースキン（ds, perc）
【録音】1979年

ヴィブラフォンのトップランナー、ボビー・ハッチャーソンが70年代の終わりに録音したコロンビア最終作。ウェザー・リポート在籍中のピーター・アースキン、ECMレーベルの看板ギタリストであるジョン・アバークロンビーなど異色のメンバーを迎え、ラテン～フュージョン色を強めたパフォーマンスで魅了する。伝説のピアニスト、バド・パウエルが書いた古典「ウン・ポコ・ロコ」におけるアレンジは今なお斬新。

No.35

フュージョン～スムース・ジャズの頂点に立つ4人のスーパー・スターの通算9作目。ファンク、ブルース、ヒップホップなど、鮮やなサウンドを聴かせる。

フォープレイ

ジャーニー

SICJ 266
2004年作品／Label：Columbia／解説：工藤由美
Stereo

2004年マスター

1 フィールズ・オブ・ゴールド／**2** プレイ・アラウンド・イット／**3** フロム・デイ・ワン／**4** ジャーニー／**5** ロジル／**6** クール・トレイン／**7** アヴァラバップ／**8** ザ・ファイアーハウス・チル／**9** ディパーチャー／**10** 4丁目147番地

ボブ・ジェームス（key）、ネイザン・イースト（b, vo）、ハーヴィー・メイソン（ds, perc, vib）、ラリー・カールトン（g）
【録音】2004年

フュージョン～スムース・ジャズの紳士たち、フォープレイの2004年リリース作品。トレードマークともいえる端正でシルキーな音作りはそのままに、ファンク、ブルース、ヒップホップ等の要素も導入して新鮮味を打ち出している。スティングの名曲「フィールズ・オブ・ゴールド」のカヴァー、ネイザン・イーストの歌声をフィーチャーしたタイトル曲は、このアルバムの魅力を象徴するトラック。

No.36

デビュー15年を記念した通算10作目。常に進化を続けるフォープレイが円熟のプレイを展開。「マイ・ラヴズ・リーヴィン」ではマイケル・マクドナルドがヴォーカル参加。

フォープレイ

X

SICJ 267
2006年作品／Label:Columbia／解説:工藤由美
Stereo
2006年マスター

1 ターンアバウト／2 シナモン・シュガー／3 イースタン・スカイ／4 キッド・ゼロ／5 マイ・ラヴズ・リーヴィン／6 スクリーンプレイ／7 トワイライト・タッチ／8 ビー・マイ・ラヴァー／9 サンデイ・モーニング

ボブ・ジェームス(key)、ネイザン・イースト(b, vo)、ハーヴィー・メイソン(ds)、ラリー・カールトン(g)
【録音】2006年

不動の人気を誇るスムース・ジャズ～フュージョン・グルーブ、フォープレイのデビュー15年記念アルバム(通算10作目)。スティーヴ・ウィンウッドの名曲「マイ・ラヴズ・リーヴィン」のカヴァーでは元ドゥービー・ブラザーズのマイケル・マクドナルドの歌声がフィーチャーされる。4人のスーパー・スターが織り成す洗練されたサウンドが詰まった、グラミー賞の最優秀ポップ・インストゥルメンタル・アルバム賞ノミネート作品。

No.37

フォープレイの一員として現在も活躍するスーパー・ドラマー、ハーヴィー・メイソンの記念すべきソロ・デビュー作! ジェントル・ソウルの面々に加え、ハービー・ハンコックも参加。

ハーヴィー・メイソン

マーチング・イン・ザ・ストリート

SICJ 268
1975年作品／Label:Arista／解説:金澤寿和
Stereo
2017年リマスター

1 マーチング・イン・ザ・ストリート／2 モダージ／3 ホップ・スコッチ／4 ワイルド・ライス／5 バラッド・フォー・ヘザー／6 フェア・ジー・ウェル／7 ビルディング・ラヴ

ハーヴィー・メイソン(ds, perc, vo)、チャック・レイニー(b)、ボール・ジャクソン(b)、ハービー・ハンコック(p)、デイヴ・グルーシン(p)、リー・リトナー(g)、ブルー・ミッチェル(tp)、ペニー・モービン(sax)、アーニー・ワッツ(sax)、ヒューバート・ロウズ(fl)他
【録音】1975年4～6月 ロサンゼルス

東海岸のスティーヴ・ガッドと並び、西海岸随一の人気を誇るファースト・コール・ドラマー、ハーヴィー・メイソンの記念すべきリーダー作。後に“ジェントル・ソウツ”を結成するリー・リトナー、デイヴ・グルーシン、アーニー・ワッツに加え、クルセイダーズとの共演でプレイクする前の若きランディ・クロフォード(vo)も参加。最高のスタジオ・ミュージシャンたちによる、練りに練られたクロスオーヴァー/フュージョン・ミュージックを満喫できる。

No.38

スーパー・ドラマー、ハーヴィー・メイソンがソングライターとしての才能を開花させたポップな快作! 西海岸を代表する人気ミュージシャンたちが勢揃いしている。

ハーヴィー・メイソン

グルーヴィン・ユー

SICJ 269
1979年作品／Label:Arista／解説:金澤寿和
Stereo
1999年リマスター

1 アイド・スティル・ビー・ゼア／2 グルーヴィン・ユー／3 ザ・レース／4 ウィ・キャン／5 ネヴァー・ギヴ・ユー・アップ／6 セイ・イット・アゲイン／7 ヒア・トゥデイ、ゴーン・トゥモロー／8 ウェイヴ／9 カウアイ 〈ボーナス・トラック〉10 グルーヴィン・ユー(12”Mix)／11 グルーヴィン・ユー(7”Mix)

ハーヴィー・メイソン(ds, perc, vo)、マイク・ポーカロ(b)、スタンリー・クラーク(b)、ヴァーディン・ホワイト(b)、リー・リトナー(g)、スティーヴ・ルカサー(g)、フィル・アップチャーチ(g)、デヴィッド・フォスター(key)、シーラ・E(perc)他
【録音】ロサンゼルス／ニューヨーク

ハービー・ハンコックの「ヘッド・ハンターズ」(1973年)への参加で人気ドラマーに仲間入りしたハーヴィー・メイソンが、AORテイスト全開のメロウ・チューンからフロアを揺らすダンス・トラックまで、シンガー・ソングライターとしての才能を発揮した快作。デヴィッド・フォスター、スティーヴ・ルカサー、ジェイ・グレイドン、レイ・パーカーJr.、シーラ・Eら西海岸を代表するトップ・ミュージシャンが大挙参加。「ヒア・トゥデイ、ゴーン・トゥモロー」ではビル・チャンプリンのヴォーカルをフィーチャーしている。

No.39

よりポップに、よりファンキーに－－－ 西海岸きってのスーパー・ドラマーの80年代第一弾。リー・リトナー他、敏腕ミュージシャンが参加。

ハーヴィー・メイソン

M.V.P.

SICJ 270
1981年作品／Label:Arista／解説:金澤寿和
Stereo
2000年リマスター

1 ハウ・ダズ・イット・フィール／2 ウィ・キャン・スタート・トゥナイト／3 ユニヴァーサル・ライム／4 スペル／5 オン・アンド・オン／6 ゴーイング・スルー・ザ・モーションズ／7 ユー・アンド・ミー／8 ドント・ダウト・マイ・ラヴィン

ハーヴィー・メイソン(ds, p, vo)、ケニー・メイソン(p, vo)、リー・リトナー(g)、ディオン・エスタス(b, vo)、ソニー・バーク(p)、ウィリアム・ブライアント(key)、トム・キーン(key)、マイケル・ボディッカー(key)他
【録音】ロサンゼルス

ハービー・ハンコック、ドナルド・バード、クインシー・ジョーンズらとの共演で頭角を現し、90年代以降は人気バンド“フォープレイ”でも活躍する人気ドラマー/プロデューサー、ハーヴィー・メイソンが1981年にリリースした作品。実弟ケニー・メイソンをピアノ、ヴォーカル、編曲で起用し、さらにソウル～ディスコ色を強めた音作りに取り組んだ。リー・リトナー(g)以外はレコーディング・メンバーを大幅に入れ替え、ジャケット通り疾走感あふれるプレイを披露している。

No.40

スーパー・ドラマー、スティーヴ・ガッドが率いたユニット“ザ・ガッド・ギャング”、唯一のライヴ。

ザ・ガッド・ギャング

ライヴ・アット・ザ・ボトムライン

SICJ 271
1994年作品／Label:Columbia／解説:村井康司
Stereo
2008年DSDマスタリング

1 河のながれを見つめて／2 ウェイ・バック・ホーム／3 マイ・ガール～チェンジズ／4 青い影／5 マイ・リトル・ブラザー／6 ケ・オーレ・ソ／7 涙をとどけて／8 ホンキー・トンク～愛さずにはいられない

スティーヴ・ガッド(ds)、コーネル・デュプリー(g)、エディ・ゴメス(b)、リチャード・ティー(key)、ロニー・キューパー(sax)
【録音】1988年 ニューヨーク「ボトムライン」

スーパー・ドラマー、スティーヴ・ガッドが80年代に率いた伝説的ユニット“ザ・ガッド・ギャング”。これは彼らの唯一のライヴ・レコーディングであると同時に、ラスト・アルバムとしても知られる一枚だ。60～70年代のR&Bやソウル・ミュージックへのリスペクトが溢れる選曲と演奏が放つ、ただならぬグルーヴに身も心も酔いしれたい。今は亡きコーネル・デュプリーやリチャード・ティーも絶品のプレイを聴かせる。

No.41

クインシー・ジョーンズら多くの奇才から愛されたハーモニカの詩人、トゥーツのジャジーでスウィートなサウンドと神業的なテクニックを堪能できる必聴盤。

トゥーツ・シールマンス

コラージュ

SICJ 272
1980年作品／Label:Columbia／解説:村井康司
Stereo
2017年リマスター

1 キラー・ジョー／2 いそしぎ／3 ジェーンのテーマ／4 ヒアズ・ザット・レイニー・デイ／5 ザット・ミスティ・レッド・ビースト／6 私を愛したスパイ／7 愛は夢の中に／8 ブルーゼット／9 センシュアリスト／10 酒とバラの日々／11 クワイエット・イヴニング

トゥーツ・シールマンス(harmonica)、ニールス・ペデルセン(b)、アレックス・リール(ds)、ロブ・フランケン(key)
【録音】1973、1978、1980年 オランダ

かつて『クワイエット・イヴニング』というタイトルで国内盤が発売され、親しまれていた作品が、オリジナル・タイトル/ジャケットで日本初CD化。ポール・サイモン、ビル・エヴァンス、クインシー・ジョーンズら数多くの鬼才から愛されたハーモニカの詩人、トゥーツ・シールマンスがオランダで録音した人気盤。映画音楽の名曲に加え、生涯の代表曲「ブルーゼット」の決定的ヴァージョンも聴ける。

No.42

“ ハーモニカの巨匠 ”トゥーツが、ニューヨークとロサンゼルスの豪華アーティストを迎えて録音したスタンダード曲集。
「ワルツ・フォー・デビー」をはじめ、極めつけの定番ナンバーを収録。

SICJ 273
1994年作品／Label：Columbia
解説：村井康司
Stereo

2006年リマスター

トゥーツ・シールマンス

イースト・コースト、ウェスト・コースト

1 ナイーマ／2 イン・ウォークド・バド／3 ディア・オールド・ストックホルム／4 グルーヴィン・ハイ／5 コン・アルマ／6 イン・エア・オウン・スイート・ウェイ／7 ジャイアント・ステップス／8 ワルツ・フォー・デビー／9 ア・チャイルド・イズ・ボーン／10 テイク・ファイヴ／11 春が来たのに／12 オーニソロジー／13 ブルー・イン・グリーン

トゥーツ・シールマンス（harmonica）
〈East Coast〉
クリスチャン・マクブライド（b）1-5 7、トロイ・デイヴィス（ds）1 5 7、ライル・メイズ（p）1-4
〈West Coast〉
チャーリー・ヘイデン（b）8 10-12、ピーター・アースキン（ds）8 10 12 13、ハービー・ハンコック（p）9 他
【録音】1994年 ロサンゼルス／ニューヨーク

“ ハーモニカの巨匠 ”トゥーツが、ニューヨーク（1 ～ 7）とロサンゼルス（8 ～ 13）で録音したセッションをカップリングしたスタンダード曲集。ハービー・ハンコック、ジョン・スコフィールド、マイク・マイニエリ、ライル・メイズ（パット・メセニー・グループ）ら最高峰のミュージシャンをサポートに迎え、「テイク・ファイヴ」「ワルツ・フォー・デビー」等、極めつけの定番ナンバーをプレイする。

No.43

“ ハーモニカの巨匠 ”トゥーツが豪華ゲストと共に
エディット・ピアフ、ミシェル・ルグランらの作品をロマンティックに奏でるオールド・フレンチ集。

SICJ 274
1998年作品／Label：Columbia
解説：工藤由美
Stereo

2017年リマスター

トゥーツ・シールマンス

シェ・トゥーツ～思い出のフレンチ、そしてジャズ

1 パリの空の下／2 バラ色の人生／3 ワルツ、NO.2／4 ヴィクターへのダンス／5 愛の賛歌／6 残されし恋には／7 オールド・フレンド／8 いつの日か／9 フォー・マイ・レディ／10 行かないで／11 風のささやき／12 桜んぼの実るころ／13 リラのワルツ（ワンス・アポン・ア・サマータイム）／14 ラヴェルのアダージョ／15 ムーラン・ルージュの歌

トゥーツ・シールマンス（harmonica）、オスカー・カストロ・ネヴィス（g）1 5 15、フィリップ・カテリーン（g）4 12、ハイン・ヴァン・デ・ガイン（b）1 3 11 13 15、アンドレ・チェカレリ（ds）1 3 11 13 15、ダイアナ・クラール（vo）2、クリップ（vo）5、ダイアン・リーヴス（vo）8、ジョニー・マティス（vo）11、シャーリー・ホーン（vo）15 他
【録音】1998年 パリ

ベルギー出身のトゥーツ・シールマンスが、改めてフランス生まれのナンバーに取り組んだ代表的一作。ダイアナ・クラールやシャーリー・ホーンといった名シンガー、“ ヤンゴ・ジャンゴ（・ラインハルト） ”と呼ばれたギター奏者フィリップ・カテリーンなどをパートナーに迎え、エディット・ピアフの「バラ色の人生」「愛の賛歌」、ミシェル・ルグランの「風のささやき」などフランスを象徴する楽曲の数々を、ジャズ・フュージョン・タッチで快く届けてくれる。

No.44

ファンキー・サックス・クイーン、キャンディ・ダルファーの記念すべきファースト・アルバム。グラミー賞にもノミネートされるなど、鮮烈なデビュー作となった。

キャンディ・ダルファー

サクシュアリティ

SICJ 275
1990年作品／Label：RCA／解説：佐藤英輔
Stereo

2006年リマスター

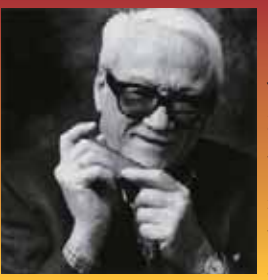
1 リリィ・ワズ・ヒア／2 ピー・ウィー／3 サクシュアリティ／4 ソー・ホワット／5 ジャジッド／6 ヘブンリー・シティ／7 ドンジャ／8 ネイバーフッド／9 Mr. リー／10 ゲット・ザ・ファンク／11 ホーム・イズ・ノット・ア・ハウス／12 リリィ・ワズ・ヒア（DNAリミックス）

キャンディ・ダルファー（as, vo, key）、ウルコ・ベッド（g, b, key, vo）、ディミトリ・ヴェルトカンプ（b）、ミシェル・バン・シー（b）、エドウィン・ラス（ds）、ボビー・ヴァン・デ・バーグ（key）他
【録音】1989年&1990年

プリンスやヴァン・モリソンとの共演でも知られる史上不滅のファンキー・サックス・クイーン、キャンディ・ダルファーのファースト・アルバムにして大ヒット作。デイヴ・スチュワート（ユーリズミックス）とのコラボ曲「リリィ・ワズ・ヒア」、マイルス・デイビスの定番に驚きのアレンジを施した「ソー・ホワット」などダンサブル&ソウルフルなナンバーばかりを収録。このアルバム抜きにキャンディを語ることはできない。

レジェンド・オブ・クロスオーヴァー&フュージョン 04

トゥーツ・シールマンス
Toots Thielemans



ワン&オンリーのハーモニカ、ギター、口笛で約70年にわたって音楽界で活躍。初期のジョン・レノンに大きな影響を与えたひとりでもあるという。ベルギーのブリュッセルに生まれ、1952年に渡米。数多くのリーダー・アルバムを残す一方、クインシー・ジョーンズ、ビル・エヴァンス（ピアニスト）、ジャコ・パストリアス、ビリー・ジョエルなど数々のミュージシャンのセッションに重用された。

No.45 イリアーヌ

ブラジル出身の女性ピアニスト&シンガー、イリアーヌの人気作。サウダージ感覚溢れるヴォーカルと美しいピアノ・タッチを満喫することができる作品。

キスト・バイ・ネイチャー

SICJ 276
2002年作品／Label：RCA／解説：工藤由美
Stereo
2002年マスター

1 キスト・バイ・ネイチャー／2 アヴォータ／3 マンハッタン／4 アパレセーウ／5 ペレーレ／6 ホエア・ディド・ユー・ゴー／7 バランセー／8 ジャヴァン・メドレー／9 オクトーバー／10 セプテンバー／11 ルアール／12 コンティーゴ・アブレンディ＊／13 キスト・バイ・ネイチャー（ボッサクカノーヴァ・リミックス）／14 バランセー（ボッサクカノーヴァ・リミックス）［＊日本盤のみのボーナス・トラック］

イリアーヌ(p, vo)、マーク・ジョンソン(b)、ジョーイ・バロン(ds, perc)、パウロ・ブラガ(ds, perc)、パウロ・アンドレ・タヴァレス(g)、リック・マーギッツァ(ts)、ランディ・ブレッカー(tp, flh) 【録音】2002年 ニューヨーク

数々のグラミー賞に輝く女性ピアニスト&シンガー、イリアーヌの人気作。故郷ブラジル・サンパウロで育まれたサウダージ感覚溢れるヴォーカル、敬愛するビル・エヴァンス直系の美しいピアノ・タッチを満喫することができる。プロデュースはイリアーヌの伴侶のマーク・ジョンソン。ランディ・ブレッカーやリック・マーギッツなど、ホーン・ミュージシャンも参加。ブラジルの人気DJチーム、ボッサクカノーヴァによるリミックス・ナンバーも大きな聴きもの。

No.46 イリアーヌ

洗練を極めたピアノ・テクニック、しっとりしたヴォーカルで幅広い音楽ファンから支持されているイリアーヌの意欲作。フル・オーケストラとの本格的共演が実現。

夢そよぐ風

SICJ 277
2004年作品／Label：RCA／解説：工藤由美
Stereo
2004 年マスター

1 コール・ミー／2 ビーズと腕輪／3 フォトグラフ／4 ムーヴィン・ミー・オン／5 ソー・ナイス／6 ザッツ・オール／7 タンジェリン／8 ドリーマー／9 タイム・アローン／10 ドラリシ／11 ハウス・イズ・ノット・ア・ホーム／12 嘘をつかないで＊［＊日本盤のみのボーナス・トラック］

イリアーヌ(p, vo)、マーク・ジョンソン(b)、オスカル・カストロ・ネヴィス(g)、パウロ・ブラガ(ds, perc)、マイケル・ブレッカー(ts, fl)、ギレルメ・モンテイロ(g)、マイク・マイニエリ(vib)他 【録音】2004年 ニューヨーク

洗練を極めたピアノ・テクニック、しっとりしたヴォーカルで幅広い音楽ファンから支持されているイリアーヌの意欲作。フル・オーケストラとの本格的共演が実現したばかりか、名グループ“ スタッフス・アヘッド ”時代の仲間であるマイク・マイニエリやマイケル・ブレッカーとの再会セッションも実現。フレッシュなアコースティック・ジャズの響きと、涼やかなブラジリアン・サウンドが一枚のアルバムに同居している。

No.47 マリーン

アジアが世界に誇るジャズ・フュージョンの歌姫、マリーンのベスト・セラー・アルバム。ダンサブルなナンバーからしっとり歌いあげるバラードまで、マリーンの魅力が凝縮。

マジック

SICJ 278
1983年作品／Label：Columbia／解説：原田和典
Stereo
2017年リマスター

1 アイム・ソー・エキサイテッド／2 ドント・レット・イット・ゴー／3 マジック／4 サタデイ・ナイト／5 ウィアー・オール・アローン／6 コーリング・アウト・トゥ・ラヴ／7 ESP／8 ウーマン・イン・ラヴ／9 ゲット・バック／10 レット・ミー・ビー・ユア・エンジェル／11 ブレイク・イット・トゥ・ミー・ジェントリー

マリーン(vo)、笹路正徳(key)、安藤まさひろ(g)、土方隆行(g)、岡沢章(b)、渡嘉敷祐一(ds)他
【録音】1983年5～8月 東京CBS・ソニー信濃町スタジオ

アジアが世界に誇るジャズ・フュージョンの歌姫、マリーンのベスト・セラー・アルバム。アレンジとキーボードは笹路正徳が担当、ザ・スクエア（現・T-SQUARE）が提供したタイトル曲や「ESP」など彼女の名を決定づけたナンバーに加え、ポインター・シスターズ「アイム・ソー・エキサイテッド」、ボズ・スキャッグス「ウィアー・オール・アローン」など海外曲のカヴァーも収録されている。

No.48 マリーン

ロサンゼルスの超一流ミュージシャンを従え、ダンサブルなナンバー、レゲエのリズムを取り入れたナンバー、そして極めつけのバラードと、マリーンの新たな魅力が満載。

ルッキング・フォー・ラヴ

SICJ 279
1984年作品／Label：Columbia／解説：工藤由美
Stereo
2017年リマスター

1 クリーチャー・オブ・ザ・ナイト／2 テイク・マイ・タイム／3 グッドバイ・ラヴ／4 ロック・ステディ／5 タイム・アンド・タイム・アゲイン／6 ニードル・イン・ア・ヘイスタック／7 アイ・ワンダー・ホワット・ユー・アー・ライク／8 アリトル T.L.C.／9 サムバディ・トールド・ミー／10 ルッキング・フォー・ラヴ／11 ホワイ・イン・ザ・ワールド

マリーン(vo)、ランディ・カーバー(p)、ラリー・ウィリアムズ(p, key, synth, sax)、ロバート・クラフト(p, synth)、ジェイ・グルスカ(synth)、ラリー・カールトン(g)、マイケル・ランドウ(g)、ネイザン・イースト(b)、ジョン・ロビンソン(ds)他 【録音】1984年3月 ロサンゼルス

80年代日本のジャズ・フェスを総立ちにしたヴォーカル・クイーン、マリーンの通算6作目はロサンゼルス録音。ラリー・カールトン、マイケル・ランドウ、ネイザン・イーストら鉄壁のセッション・ミュージシャンを従え、ダンサブルなフュージョン・ナンバーから、レゲエのリズムを取り入れた「ロック・ステディ」、極めつけのバラード「タイム・アンド・タイム・アゲイン」等、バラエティに富んだ楽曲を快唱する。

No.49 日野皓正

サウンド・メーカーとしてのヒノテルの魅力が満載。TV-CMにも使われたタイトル曲など、ファンキーでポップな楽曲が並ぶヒット・アルバム。

ニューヨーク・タイムズ

SICJ 280
1983年作品／Label：Columbia／解説：工藤由美
Stereo
2000年DSDマスタリング

1 オーティス／2 シャンペン・レイン／3 ニューヨーク・タイムズ／4 モーニング・アフター／5 ドリーム・クリーム／6 キー・ブリーズ／7 ニューボーン・スウィング／8 フリーランド／9 ディープ・ブルー

日野皓正(tp, cor, flh)、ケニー・カークランド(key)、ルー・ヴォルピー(g)、トム・バーニー(b)、リッチー・モラレス(ds)、マノロ・バドレーナ(perc)他
【録音】1983年6～7月 ニューヨーク

オーティス・レディング（伝説のR&Bシンガー）に捧げた「オーティス」、TV-CMにも使われたタイトル曲など、ファンキーでポップな楽曲が並ぶヒット・アルバム。若きケニー・カークランドがキーボードとアレンジで参加、ホーン・セクションにはマイケル・ブレッカーやトム・マローンの名も。80年代初頭のニューヨーク・シーンの熱気が伝わる“ 日野フュージョン ”の金字塔。

No.50 日野皓正

才人フィリップ・セスをプロデューサー、アレンジャーに迎え、強烈なビートと美しいメロディーが織りなすグルーヴ感たっぷりの当時最先端のフュージョン・サウンドを展開。

トレード・ウィンド

SICJ 281
1986年作品／Label：Columbia／解説：村井康司
Stereo
2000年DSDマスタリング

1 マタドール／2 ブラック・サンド・ビーチ／3 オン・ディス・ナイト／4 ポートピア／5 トレード・ウィンド／6 タトゥルテイルス／7 マイ・マインズ・メイド・アップ／8 リヴァーサイド・パーク

日野皓正(cor, flh)、フィリップ・セス(arr, key)、スティーヴ・フェローン(ds)、ニック・モロック(g)、マーク・イーガン(b)、ミノ・シネル(perc)、カレン・ノヴィ(vo)他
【録音】1986年3月 ニューヨーク

アル・ディ・メオラやデイヴィッド・サンボーンとのコラボレーションで知られる才人フィリップ・セスをプロデューサー、アレンジャーに迎え、録音当時最先端のフュージョン・サウンドを展開した一枚。オーケストラ・ヒットや打ち込みを多用したパック・トラックを従え、日野が鮮烈なコルネット・プレイを繰り広げる。マーク・イーガン（元パット・メセニー・グループ）ら、ゲスト陣も豪華。

No.51 ジャズ、ロック、ファンクが一体となった怒涛のサウンドと超絶テクニックで、世界中のミュージシャンたちの度肝を抜いた歴史的な名盤!

ブレッカー・ブラザーズ

ヘビー・メタル・ビ・バップ

SICJ 282
1978年作品／Label:Arista／解説:原田和典
Stereo
2007年リマスター

1 イースト・リヴァー／2 インサイド・アウト／3 サム・スカンク・ファンク／4 スポンジ／5 ファンキー・シー・ファンキー・デュー／6 スクイッズ

ランディ・ブレッカー(tp, key)、マイケル・ブレッカー(ts)、バリー・フィナティ(g)、テリー・ボジオ(ds)、ニール・ジェイソン(b)、サミー・フィゲロア(perc)、ラファエル・クルス(perc)他
【録音】1978年 ロング・アイランド

限界知らずの超絶技巧、破格のテンションでひた走るランディ&マイケルの最強管楽器兄弟の伝説的名盤。タイトル通りのサウンドが炸裂し、リリースされるや否や、ファンだけでなく、世界中のミュージシャンたちの間にも衝撃を与えた。ロック色濃厚なヴォーカル・ナンバー「イースト・リヴァー」だけがスタジオ新録音で、「サム・スカンク・ファンク」や「スポンジ」などをライヴ・ヴァージョンで収録。フランク・ザッパ等との共演で知られるテリー・ボジオの凄まじいドラム・プレイも聴きどころ。

No.52 強力リズム隊を従え、ダンサブルなサウンドが炸裂! プロデューサーにジョージ・デュークを迎え、ポップなブラコン～R&Bテイストが魅力の5作目。

ブレッカー・ブラザーズ

デタント

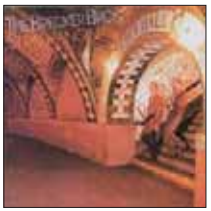
SICJ 283
1980年作品／Label:Arista／解説:原田和典
Stereo
2007年リマスター

1 ユー・ガッタ／2 ノット・トゥナイト／3 ドント・ゲット・ファニー・ウィズ・マイ・マネー／4 ティード・オフ／5 ユー・レフト・サムシング・ビハインド／6 スクイッシュ／7 ドリーム・テーマ／8 バフルド／9 アイ・ドント・ノウ・イーザー

マイケル・ブレッカー(ts, fl)、ランディ・ブレッカー(tp)、アイアート・モレイラ(perc)、ハイラム・ブロック(g)、スティーヴ・ガッド(ds)、ドン・グロルニック(key)、ニール・ジェイソン(b)、スティーヴ・ジョーダン(ds)、マーカス・ミラー(b)他
【録音】ニューヨーク／ロサンゼルス

伝説的名演『ヘビー・メタル・ビ・バップ』の2年後にリリースされた通算5作目。プロデューサーに人気キーボード奏者のジョージ・デュークを迎え、R&B～ファンク・テイスト満載のダンサブルな音作りに臨んでいる。マーカス・ミラー&スティーヴ・ガッド組(NY録音)とニール・ジェイソン&スティーヴ・ジョーダン組(LA録音)という2つの強力リズム・セクションの違いを楽しめるのも大きな魅力のひとつ。

No.53 アリスタ黄金期のラストを飾る6作目。超人的な演奏だけでなく、作曲～アンサンブルにも力を注いだグループの完成形ともいえる作品。



ブレッカー・ブラザーズ

ストラップハンギン

SICJ 284
1981年作品／Label:Arista／解説:原田和典
Stereo
2007年リマスター

1 ストラップハンギン／2 スリーサム／3 バスシバ／4 ジャックナイフ／5 ホワイ・キャント・アイ・ビー・ゼア／6 ノット・エチオピア／7 スプレッドイーグル

ランディ・ブレッカー(tp)、マイケル・ブレッカー(ts)、バリー・フィナティ(g)、マーク・グレイ(key)、マーカス・ミラー(b)、リッチー・モラレス(ds)、ドン・アライアス(perc)、マノロ・バドレーナ(perc)
【録音】ニューヨーク

ブレッカー・ブラザーズの通算6作目にして、黄金のアリスタ・イヤーズの掉尾を飾るアルバム。さらに磨きのかかったランディのトランペット・プレイと曲作り、とどまるところを知らないマイケルの超絶的なテナー・サックス吹奏を満喫できる。同時期にマイケルが在籍していたグループ、ステップスのレパートリーとしても人気を博した重要曲「ノット・エチオピア」を収録。本作を最後にグループは活動を休止し、ソロ活動にシフトしていく。

No.54 大量増員によるオーケストラ的なサウンドでファンの度肝を抜いた第3期リターン・トゥ・フォーエヴァーの代表作。

リターン・トゥ・フォーエヴァー

ミュージックマジック

SICJ 285
1977年作品／Label:Columbia／解説:村井康司
Stereo
2011年リマスター

1 ザ・ミュージシャン／2 ハロー・アゲイン／3 ミュージックマジック／4 ソー・ロング・ミッキー・マウス／5 ドゥ・ユー・エヴァー／6 エンドレス・ナイト

チック・コリア(p, key, vo)、ゲイル・モラン(p, key, vo)、ジョー・ファレル(ss, ts, fl)、ジョン・トーマス(tp, flh)、ジェイムズ・ティンズレイ(tp, flh)、ハロルド・ギャレット(tb)、ジム・ビュー(tb)、スタンリー・クラーク(b, vo)、ジェリー・ブラウン(ds)
【録音】1977年1～2月

エレクトリック・ギターをフィーチャーした第2期から一転、大量増員によるオーケストラ的なサウンドでファンの度肝を抜いた第3期リターン・トゥ・フォーエヴァーの代表作。第1期の要であったサックス奏者ジョー・ファレルが復帰し、チック・コリアの妻ゲイル・モランがヴォーカリストとして新参加。厚みのあるホーン・セクションをバックに、チックやスタンリー・クラークが会心のプレイを繰り広げる。

No.55 リターン・トゥ・フォーエヴァーの総決算というべきライヴ・レコーディング。
かつてLP4枚組だったものを曲数そのままに、2枚のCDに凝縮。

リターン・トゥ・フォーエヴァー

ザ・コンプリート・コンサート

SICJ 286～7
1978年作品／Label:Columbia
解説:原田和典
Stereo

Disc-1
1 オープニング 77／2 エンドレス・ナイト／3 ミュージシャン *／4 イントロダクション／5 ハロー・アゲイン 6 ソー・ロング・ミッキー・マウス *／7 ミュージックマジック *
Disc-2
1 降っても晴れても／2 セレナーデ／3 ムーアの勇士とスペインの王女／4 イントロダクション／5 ピアノ・ソロ～スパニッシュ・ファンタジー／6 クロージング・イントロダクション／7 グリーン・ドルフィン・ストリート
[*edit version]

チック・コリア(p, key, vo)、スタンリー・クラーク(b, vo)、ゲイル・モラン(p, key, vo)、ジョー・ファレル(ss, ts, fl)、ロン・モス(tb)他
【録音】1977年

2枚組
1999年DSDマスタリング

ジャズ・フュージョン界に不滅の足跡を残すグループ、リターン・トゥ・フォーエヴァーの総決算というべきライヴ・レコーディング。第3期による唯一のスタジオ・アルバム『ミュージックマジック』からのナンバーを中心に、「スパニッシュ・ファンタジー」やスタンダード・ナンバー「グリーン・ドルフィン・ストリート」も聴くことができる。LP4枚分の大作を、CD2枚に収録。

No.56

大ヒット作『モーニング・ダンス』に続く3作目。全米ジャズ・チャート1位を獲得。タイトル曲と「パーコレーター」がシングル・カットされヒットを記録した。

スパイロ・ジャイラ

キャッチング・ザ・サン

SICJ 288
1980年作品／Label:Amherst／解説:石沢功治
Stereo
2017年リマスター

1 キャッチング・ザ・サン／2 クッカトゥー／3 オータム・オブ・アワ・ラヴ／4 レーザー・マテリアル／5 パーコレーター／6 フィリー／7 ラヴィン・ユー／8 ヒア・アゲイン／9 サファリ

ジェイ・ベッケンスタイン(sax)、トム・シューマン(key)、ジェレミー・ウォール(key)、デイヴ・サミュエルズ(vib, marimba)、チェット・カタロ(g)、ジム・カーツドーファー(b)、イーライ・コニコフ(ds)、ジェラルド・ヴェレス(perc)、ウィル・リー(b)、ジョン・トロベイ(g)、ハイラム・ブロック(g)、ランディ・ブレッカー(tp)他
【録音】ニューヨーク

記録的ビッグ・ヒット『モーニング・ダンス』に続きリリースされた通算3作目(全米ジャズ・チャート1位)。50万枚のセールスをあげゴールド・ディスクにも認定されている。ジェイ・ベッケンスタインの軽やかなサックスとデイヴ・サミュエルズのマリンバが、タイトル通り輝かしく暖かい音世界へと案内する。タイトル曲と「パーコレーター」はシングル・カットされ、全米ヒット・チャートにランクインした。

No.57

トロピカルで華やかな作風でフュージョン・ブームを牽引した人気グループの4作目。多くの人気ミュージシャンがゲスト参加している。

スパイロ・ジャイラ

カルナヴァル

SICJ 289
1980年作品／Label:Amherst／解説:村井康司
Stereo
2017年リマスター

1 カフェ・アモーレ／2 ディジー／3 目覚め／4 カシャーサ／5 フォックストロット／6 スウィート・アンド・サヴィ／7 ビタースウィート／8 カルナヴァル

ジェイ・ベッケンスタイン(sax)、トム・シューマン(key)、ジェレミー・ウォール(key)、デイヴ・サミュエルズ(vib, marimba)、チェット・カタロ(g)、ジム・カーツドーファー(b)、イーライ・コニコフ(ds)、ジェラルド・ヴェレス(perc)、マイケル・ブレッカー(fl)、ランディ・ブレッカー(tp)、ハイラム・ブロック(g)、ジョン・トロベイ(g)、スティーヴ・ジョーダン(ds)、ウィル・リー(b)他
【録音】ニューヨーク

フュージョン・ブームを象徴するユニット、サックス奏者ジェイ・ベッケンスタイン率いるスパイロ・ジャイラの通算4作目。彼らの大きな魅力であるトロピカルな音作りに、サルサやサンバなどラテンのテイストが加わり、一層華やかな内容に仕上がった。シングル・カットされた「カフェ・アモーレ」も収録。ブレッカー・ブラザーズ、ウィル・リー、スティーヴ・ジョーダンら豪華ゲストの参加も話題に。

No.58

『モーニング・ダンス』で知られるスパイロ・ジャイラの5作目。全米ジャズ・チャート1位。ゲストにニューヨークの人気ミュージシャンを招いた人気作。

スパイロ・ジャイラ

フリータイム

SICJ 290
1981年作品／Label:Amherst／解説:工藤由美
Stereo
2017年リマスター

1 フリータイム／2 テリューライド／3 サマー・ストラット／4 エレジー・フォー・トレーン／5 パシフィック・サンライズ／6 アンバー・ドリーム／7 ストリング・スープ

ジェイ・ベッケンスタイン(sax)、トム・シューマン(key)、ジェレミー・ウォール(key)、チェット・カタロ(g)、ジョン・トロベイ(g)、デイヴ・サミュエルズ(vib, marimba)、イーライ・コニコフ(ds)、ジェラルド・ヴェレス(perc)、ウィル・リー(b)、ランディ・ブレッカー(tp)、リチャード・ティー(key)他
【録音】ニューヨーク

『モーニング・ダンス』の大ヒットで一躍トップ・フュージョン・バンドの仲間入りを果たしたスパイロ・ジャイラの通算5作目。ゲストにランディ・ブレッカー、スティーヴ・カーン、リチャード・ティーなどニューヨークを代表するセッション・ミュージシャンを迎え、明るい陽光のように心地よいサウンドをたっぷり披露。ジェイ・ベッケンスタインのサックスとデイヴ・サミュエルズのマリンバが醸し出すハーモニーがこよなく美しい。

No.59

アメリカ建国200年のお祭り気分を反映したポップな作品。ビリー・ジョエルやエリック・クラプトンのカヴァー曲を収録。

ベン・シドラン

フリー・イン・アメリカ

SICJ 291
1976年作品／Label:Arista／解説:金澤寿和
Stereo
2008年リマスター

1 フィール・ユア・グルーヴ(グルーヴィにいこう)／2 アフター・ミッドナイト／3 愛のサンデイ／4 レッツ・メイク・ア・ディール／5 ベッグ・フォー・イット／6 ニューヨークの想い／7 ユー・トーク・トゥー・マッチ／8 キューバン・コネクション／9 フリー・イン・アメリカ

ベン・シドラン(p, organ, vo)、フィル・アップチャーチ(b, g, perc)、ギャリー・ザッパ(b)、ビル・ミーカー(ds)、ジェイムズ・クック(g)、リチャード・ティー(organ)、ウディ・ショウ(tp)他
【録音】シカゴ

1943年、シカゴ生まれ。モーズ・アリソンやジョージ・フェイムに通じる洒落たピアノ弾き語りの名手にして、音楽評論家としての一面も持つ知性派ベン・シドランが、1976年に発表した通算5枚目のソロ・アルバム。リチャード・ティー、フィル・アップチャーチ、伝説のトランペット奏者ウディ・ショウなど個性的なメンバーを招き、「ニューヨークの想い」(ビリー・ジョエルのカヴァー)をはじめシドラン流に料理している。

No.60

マイク・マイニエリ、スティーリー・ダン、サイモン&ガーファンクル等との共演で知られる名キーボード奏者、ウォーレン・バーンハートのファン垂涎の無伴奏ソロ・アルバム。

ウォーレン・バーンハート

フローティング

SICJ 292
1979年作品／Label:Arista／解説:原田和典
Stereo
2017年リマスター　世界初CD化

1 ティモシー／2 ミラー／3 フローティング／4 スノーバーズ／5 スウィート・ハーモニー;シング・ソング／6 ソング・トゥ・マイ・ファーザー／7 メトリクス

ウォーレン・バーンハート(p)
【録音】1978年11～12月

アコースティック・ピアノ、その最高の抒情美がここに。マイク・マイニエリ、スティーリー・ダン、サイモン&ガーファンクル等との共演で知られる名キーボード奏者、ウォーレン・バーンハートが1978年に制作したファン垂涎の無伴奏ソロ・アルバム。ビル・エヴァンスやキース・ジャレットを彷彿とさせる美しいピアノ・タッチと流麗なハーモニー、抒情的なメロディ・センスが胸に迫る。

レジェンド・オブ・クロスオーヴァー&フュージョン 05

ラリー・コリエル
Larry Coryell

別名"フュージョンのゴッドファーザー"。60年代のミュージック・シーンに彗星の如く登場、ジャズの即興とロックのエネルギーを融合したエレクトリック・ギター・プレイでセンセーションを巻き起こした。70年代に入るとアコースティック・ギターによる演奏にも積極的に取り組み、クラシックやインド音楽にも領域を広げた。今年2月、ツアー先のニューヨークで急逝。

No.61

ジャズとロックを融合させたパイオニアのひとりであるラリー・コリエルが、愛用のアコースティック・ギター“ スタンディング・オペレーション ”で魅力のすべてを披露した金字塔的作品。

ラリー・コリエル

スタンディング・オペレーション

SICJ 293
1978年作品／Label：Arista／解説：原田和典
Stereo

2017年リマスター　日本初CD化

1 ディスコテキサス／2 エクサープト／3 ラヴェル／4 ワンダフル・ウルフギャング／5 ピアノ・インプロヴィゼーション／6 スウィート・シャッフル／7 ムーン／8 パーク・イット・ホエア・ユー・ウォント／9 スピリチュアル・ダンス

ラリー・コリエル（g, p）、L. スブラマニアム（vln, tambura）[3]
【録音】1978年3月

ジャズとロックを融合させたパイオニアのひとりであるラリー・コリエルが、愛用のアコースティック・ギター“ スタンディング・オペレーション ”で魅力のすべてを披露した金字塔的作品が遂に日本初CD化！ 炎のようなピッキング、ニュアンスに富んだ音色、狂おしいほどのメロディ・ラインに引き込まれること間違いなし。彼自身が「これまでの最高傑作」と豪語したのもうなずける、圧巻の内容だ。

No.62

カリスマ・ギタリスト、ラリー・コリエルがアコースティック・ギター・ソロで真価を発揮したファン垂涎のレア・アイテムが遂に日本初CD化。

ラリー・コリエル

ヨーロッパの印象

SICJ 294
1978年作品／Label：Arista／解説：石沢功治
Stereo

2017年リマスター　日本初CD化

1 トロント・アンダー・ザ・サイン・オブ・カプリコーン／2 フォー・フィリップ・アンド・ジャンゴ／3 ロドリーゴ・リフレクションズ／4 4月7日／5 ホレス・シルバー・メドレー：ソング・フォー・マイ・ファーザー～シスター・セイディ／6 コペンハーゲンの印象／7 テーマとヴァリエーション

ラリー・コリエル（g）
【録音】1～3：1978年7月23日 モントルー・ジャズ・フェスティヴァル実況録音
4～7：1978年8月17日 ニューヨーク

2017年に急逝したカリスマ・ギタリスト、ラリー・コリエルがアコースティック・ギター・ソロで真価を発揮したファン垂涎のレア・アイテムが遂に日本初CD化。前半をスイス「モントルー・ジャズ・フェスティヴァル」のライヴ・パフォーマンス、後半をニューヨークにおけるスタジオ録音で構成し、クラシック、スパニッシュ、ジャズ、ロックを横断するスケールの大きなプレイで魅了する。

No.63

エレクトリックとアコースティックの双方で神業的ギター・プレイを展開する3枚目。

アル・ディ・メオラ

カジノ

SICJ 295
1978年作品／Label：Columbia／解説：石沢功治
Stereo

1998年DSDマスタリング

1 エジプトの舞踏／2 ヴードゥーの追跡／3 黒い瞳のタンゴ／4 セニョール・マウス／5 2つのギターのための幻想曲　ヴィヴァ・ダンツァリーナ～異国のギター～イタリア狂詩曲～ブラボト・ファンタジア／6 カジノ

アル・ディ・メオラ（g）、アンソニー・ジャクソン（b）、スティーヴ・ガッド（ds）、バリー・マイルズ（key）、ミンゴ・ルイス（perc）、エディー・コロン（perc）
【録音】1978年 ニューヨーク

『エレガント・ジプシー』に続き、翌1978年にリリースされたアル・ディ・メオラ通算3枚目のリーダー・アルバム（全米ジャズ・チャート最高5位）。スティーヴ・ガッド、アンソニー・ジャクソン、バリー・マイルズとの伝説的レギュラー・グループによる吹き込みで、エレクトリックとアコースティックの双方で神業的ギター・プレイを展開する。不朽の名演「セニョール・マウス」を収録。

レジェンド・オブ・クロスオーヴァー&フュージョン 06

アル・ディ・メオラ

Al Di Meola

1974年にチック・コリアの“リターン・トゥ・フォーエヴァー”に参加、速度の限界に挑むようなエレクトリック・ギター演奏はジャズ・ファンだけではなくロック・ファンからも強く支持された。1980年に結成したパコ・デ・ルシア、ジョン・マクラフリンとのアコースティック・ユニット“スーパー・ギター・トリオ”も名高い。今年9月、「東京JAZZ」出演のため久々の来日を果たした。

No.64

作曲家／プロデューサーとしても一大飛躍をとげた1980年リリースの大作。

アル・ディ・メオラ

スプレンディド・ホテル

SICJ 296
1980年作品／Label：Columbia
解説：石沢功治
Stereo

1998年DSDマスタリング

1 エイリアン・チェイス／2 サイレント・ストーリー／3 ローラー・ジュビリー／4 トゥー・トゥ・タンゴ／5 アルのドリーム・テーマ／6 神々のディナー・ミュージック／7 スプレンディド・サンダンス／8 アイ・キャン・テル／9 スパニッシュ・アイズ／10 イスファハン／11 ブランカの子守歌

アル・ディ・メオラ（g）、チック・コリア（key）、ヤン・ハマー（key）、フィリップ・セス（key）、アンソニー・ジャクソン（b）、スティーヴ・ガッド（ds）、レス・ポール（g）他
【録音】1980年

スーパー・ギタリスト、ディ・メオラが作曲家／プロデューサーとしても一大飛躍をとげた1980年リリースの大作。アナログ盤は2枚組として発売された。スティーヴ・ガッドとアンソニー・ジャクソンが生み出す壮絶なリズムに加え、チック・コリアとの再会セッション、巨星レス・ポールとの競演、弦楽四重奏の起用など、従来以上に多彩な音作りも大きな魅力。

No.65 さらにプログレッシヴに進化したディ・メオラ・ミュージックを満喫できる一枚。

アル・ディ・メオラ

シナリオ

SICJ 297
1983年作品／Label：Columbia／解説：石沢功治
Stereo

1991年リマスター

1 マタ・ハリ／2 アフリカン・ナイト／3 アイランド・ドリーマー／4 シナリオ／5 シークエンサー／6 カチャカ／7 ヒプノティック・コンビクション／8 カリオペ／9 スカウンドレル

アル・ディ・メオラ(g)、ヤン・ハマー(key)、トニー・レビン(b)、ビル・ブラッフォード(ds)、フィル・コリンズ(ds)他

さらにプログレッシヴに進化したディ・メオラ・ミュージックを満喫できる一枚(1983年リリース)。盟友ヤン・ハマー(元マハヴィシュヌ・オーケストラ)をパートナーに、当時最先端を行くサンプリング・シンセサイザー“ フェアライトCMI ”を活用したサウンドを展開。キング・クリムゾンのビル・ブラッフォードとトニー・レビン、ジェネシスのフィル・コリンズの起用も話題を集めた。

No.66 新たなスタートラインに立ったマイルスの尽きない創造性、チャレンジ・スピリットが胸を打つ。

マイルス・デイビス

ザ・マン・ウィズ・ザ・ホーン

SICJ 298
1981年作品／Label：Columbia／解説：原田和典
Stereo

2006年リマスター

1 ファット・タイム／2 バック・シート・ベティ／3 シャウト／4 アイーダ／5 ザ・マン・ウィズ・ザ・ホーン／6 アーシュラ

マイルス・デイビス(tp)、ビル・エヴァンス(ss)、ロバート・アーヴィングIII(p, el-p)、マイク・スターン(g)、ランディ・ホール(g, vo, synth)、バリー・フィナティ(g/omit)、マーカス・ミラー(g/omit)、フェルトン・クルーズ(b)、ヴィンセント・ウィルバーン(ds)、アル・フォスター(ds/omit)、サミー・フィゲロア(perc/omit)
【録音】1980、1981年

突然の活動中断から6年、“ トランペットを持った男 ”がついに復活の雄叫びをあげた! 世界中のファンを狂喜させた帝王マイルス・デイビス、圧巻のカムバック・アルバム。タイトル曲を除いてすべてアコースティック・トランペットを演奏し、若きマーカス・ミラー、マイク・スターンらも存分に才能を発揮。万全のコンディションで新たなスタートラインに立ったマイルスの尽きない創造性、チャレンジ・スピリットが胸を打つ。

No.67 “ トランペットで歌う男 ”マイルスの真骨頂を、幅広くアピールした大ヒット・アルバム。

SICJ 299
1985年作品／Label：Columbia
解説：原田和典
Stereo

2006年リマスター

マイルス・デイビス

ユア・アンダー・アレスト

1 ワン・フォーン・コール～ストリート・シーンズ／2 ヒューマン・ネイチャー／3 MD1～サムシングズ・オン・ユア・マインド～MD2／4 ミズ・モリシーン／5 カティア・プレリュード／6 カティア／7 タイム・アフター・タイム／8 ユア・アンダー・アレスト／9 ジャン・ピエール～ユア・アンダー・アレスト～ゼン・ゼア・ワー・ナン

マイルス・デイビス(tp)、ボブ・バーグ(ss, ts)、ジョン・スコフィールド(g/omit)、ジョン・マクラフリン(g)、ロバート・アーヴィングIII(synth)、ダリル・ジョーンズ(b)、アル・フォスター(ds)、ヴィンズ・ウィルバートン Jr.(ds)、スティーヴ・ソーントン(perc, voice)、スティング(voice)、マレク・オルコ(voice)、ジェームス・ブリンディヴィル(handcuffs)、ギル・エヴァンス(arr)
【録音】1984年、1985年

マイケル・ジャクソン「ヒューマン・ネイチャー」、シンディ・ローパー「タイム・アフター・タイム」等をカヴァー。“ トランペットで歌う男 ”マイルスの真骨頂を、幅広い音楽ファンにアピールした大ヒット・アルバム。スティング、ジョン・マクラフリンらスター・ミュージシャンのゲスト参加も大きな話題を呼んだ。後期マイルスの代表的オリジナルで、いまやスタンダード・ナンバーと化した「ジャン・ピエール」も収録。

No.68 ジャズとヒップホップの融合を高らかに宣言したアメリカ・ポピュラー音楽史上の金字塔。

ハービー・ハンコック

フューチャー・ショック

SICJ 300
1983年作品／Label：Columbia／解説：原田和典
Stereo

1999年リマスター

1 ロックイット／2 フューチャー・ショック／3 TFS／4 アース・ビート／5 オートドライヴ／6 ラフ
〈ボーナス・トラック〉7 ロックイット・メガ・ミックス

ハービー・ハンコック(p, etc)、ビル・ラズウェル(b)、グランド・ミキサーD.ST(turntables)、ダニエル・ポンセ(bata)、マイケル・パインホーン(DMX, etc)他
【録音】1983年

ジャズとヒップホップの融合を高らかに宣言したアメリカ・ポピュラー音楽史上の金字塔。ビル・ラズウェルを中心とする音楽集団“ マテリアル ”との共同作業は、その後のクラブ・ミュージックの方向性を決定づけたといっても過言ではない。ターンテーブルを導入した「ロックイット」はグラミー賞の最優秀R&Bパフォーマンス賞を獲得、タイトル曲を歌ったバーナード・ファウラーは後にローリング・ストーンズに合流する。

No.69 鮮烈な音の渦に聴き手を巻き込む、ハービー・ハンコック＋ビル・ラズウェルのコラボ第2弾。

ハービー・ハンコック

サウンド・システム

SICJ 301
1984年作品／Label：Columbia／解説：原田和典
Stereo

1999年DSDマスタリング

1 ハードロック／2 メタル・ビート／3 カラバリ／4 ジュンクー／5 ピープル・アー・チェンジング／6 サウンド・システム
〈ボーナス・トラック〉7 メタル・ビート(エクステンディッド・ヴァージョン)

ハービー・ハンコック(key)、ビル・ラズウェル(b, mixing)、DST(turntable)、ウェイン・ショーター(sax)、バーナード・ファウラー(vo)、アントン・フェアー(ds)、近藤等則(tp)他
【録音】1984年

衝撃の問題作『フューチャー・ショック』の翌年にリリースされた、ハービー・ハンコック＋ビル・ラズウェルのコラボレーション・アルバム第2弾。盟友ウェイン・ショーターを筆頭に、ガンビア出身の鬼才フォデイ・ムサ・スソ、トランペットの近藤等則など強烈な個性を持つゲストをふんだんに加え、前作以上に鮮烈な音の渦に聴き手を巻き込む。ロサンゼルス・オリンピックの陸上テーマ・ソング「ジュンクー」収録。

No.70 名作『ヘッド・ハンターズ』に参加した若き凄腕ミュージシャンたちによるスーパー・グループ。

ザ・ヘッドハンターズ

サヴァイヴァル・オブ・ザ・フィッテスト

SICJ 302
1975年作品／Label：Arista／解説：村井康司
Stereo
2008年リマスター

1 ゴッド・メイク・ミー・ファンキー／2 マギック／3 ヒア・アンド・ナウ／4 ダフィーズ・ダンス／5 リマ／6 イフ・ユーヴ・ゴット・イット・ユール・ゲット・イット

ベニー・モーピン（sax, p, vo）、ビル・サマーズ（perc）、マイク・クラーク（ds, vo）、ハーヴィー・メイソン（perc）、ポール・ジャクソン（b, vo）、ブラックバード・マクナイト（g, vo）他
【録音】1974年 サンフランシスコ

ハービー・ハンコック、1973年録音のメガ・ヒット作『ヘッド・ハンターズ』から派生したジャズ・ファンク集団、ザ・ヘッドハンターズのファースト・アルバム。同時期のザ・ブラックバーズやザ・クルセイダーズと並び称される強烈なファンク・サウンドで、ベニー・モーピンをはじめとする凄腕たちの迫力満点のソロには圧倒されるばかり。後年、ジャミロクワイらにもサンプリングされて再評価が高まった「ゴッド・メイク・ミー・ファンキー」には、ポインター・シスターズも参加。

No.71 新メンバーを加えて、よりファンキーに、よりパワフルにヴァージョン・アップした凄腕ミュージシャン軍団のセカンド・アルバム。

ザ・ヘッドハンターズ

ストレイト・フロム・ザ・ゲイト

SICJ 303
1977年作品／Label：Arista／解説：佐藤英輔
Stereo
2008年リマスター

1 ストレイト・フロム・ザ・ゲイト／2 マヨネーズ／3 ミズ・ヤム・ヤム／4 ドント・キル・ユア・フィーリングス／5 ディセンディング・アジジウ／6 アイ・リメンバー・アイ・メイド・ユー・クライ／7 ポーク・ソーダ／8 ドリームス／9 シルエット

ベニー・モーピン（sax, fl, vo）、マイク・クラーク（ds）、ポール・ジャクソン（b, vo）、ブラックバード・マクナイト（g, vo）、ポール・ポティアン（p, organ, vo）、デリック・ユーマン（vo）他
【録音】1977年5～6月 サンフランシスコ

凄腕ジャズ・ファンク集団、ザ・ヘッドハンターズの2年ぶりとなるセカンド・アルバム。新たにキーボード奏者とヴォーカリストを補充し、超絶技巧が炸裂するインスト曲とポップなヴォーカル・ナンバーをバランスよく配置。AOR的な「ドント・キル・ユア・フィーリングス」は新境地と呼ぶにふさわしい出来栄え。後にP-ファンク軍団と合流するブラックバード・マクナイトの鮮烈なギター・プレイも聴き逃せない。このアルバムを最後に、1998年までグループとしての活動を休止する。

No.72 ジャズ・ファンクの草分け、ラムゼイ・ルイスがとびきりメロウに奏でた傑作！絶頂期のスティーヴィー・ワンダーが2曲を書き下ろし、レコーディングにも参加。

ラムゼイ・ルイス

ラヴ・ノーツ

SICJ 304
1977年作品／Label：Columbia／解説：佐藤英輔
Stereo
2011年リマスター

1 スプリング・ハイ／2 「スター誕生」愛のテーマ～エヴァーグリーン／3 シャイニング／4 ラヴ・ノーツ／5 チリ・トゥデイ、ホット・タマーリ／6 ザ・メッセンジャー／7 スタッシュ・ダッシュ

ラムゼイ・ルイス（p, key, synth）、スティーヴィー・ワンダー（key, synth）、キース・ハワード（ds）、ロン・ハリス（b）、バイロン・グレゴリー（g）、ラームリー・マイケル・デイヴィス（vo）他
【録音】シカゴ／ロサンゼルス

ジャズ・ファンク界の紳士、ラムゼイ・ルイスの代表作として名高い一枚。絶頂期のスティーヴィー・ワンダーが2曲を書き下ろし、レコーディングにも参加している。バーブラ・ストライサンドの名唱で知られる「スター誕生　愛のテーマ」のカバー、アース・ウインド&ファイアーのトラッペッターでもあるラームリーが歌う「シャイニング」など聴きどころ満載。ラムゼイの美しいアコースティック・ピアノも冴えわたる。本作は前作『サロンズ』のレコーディング直後に急逝したプロデューサー、チャールズ・ステップニーに捧げられている。

No.73 ラリー・ダンをプロデューサーに迎えるなどEW&Fが全面的にバックアップしたメロディアスでポップな人気作。

ラムゼイ・ルイス

テキーラ・モッキンバード

SICJ 305
1977年作品／Label：Columbia／解説：佐藤英輔
Stereo
2011年リマスター

1 テキーラ・モッキンバード／2 さまよえる薔薇／3 スキッピン／4 マイ・エンジェルズ・スマイル／5 カミノ・エル・ブエノ／6 ケアリング・フォー・ユー／7 インティマシー／8 ザット・オール・バッハ・マジック

ラムゼイ・ルイス（p, key, synth）、ロン・ハリス（b）、キース・ハワード（ds）、バイロン・グレゴリー（g）、ラリー・ダン（key）、ヴァーディン・ホワイト（b）、フィリップ・ベイリー（Congas）、アル・マッケイ（g）、レオン・ンドゥグ・チャンクラー（ds）他　【録音】ロサンゼルス

アース・ウインド&ファイアーのラリー・ダンと、マリーナ・ショウやシスター・スレッジの音作りを手がけたバート・デコートをプロデューサーに迎えたラムゼイ・ルイスのベスト・セラー作品。フィリップ・ベイリー、ヴァーディン・ホワイト、アル・マッケイらEW&F組を中心に豪華メンバーをふんだんに起用し、ラムゼイのキャリアの中でも、最もメロディアスでポップな作品と言われている。全米ジャズ・チャートで最高3位を記録した。

No.74 EW&Fとの共演でも知られる大御所ラムゼイ・ルイスと、グラミー賞シンガー、ナンシー・ウィルソンのコラボ作。AORファンからも人気の高い一枚。

ラムゼイ・ルイス＆ナンシー・ウィルソン

トゥー・オブ・アス

SICJ 306
1984年作品／Label：Columbia／解説：原田和典
Stereo
2011年リマスター

1 ラム／2 ミッドナイト・ランデヴー／3 ブレイカー・ビート／4 スリッピン・アウェイ／5 トゥー・オブ・アス／6 クワイエット・ストーム／7 ネヴァー・ウォナ・セイ・グッドナイト／8 クローサー・ザン・クロース／9 ソング・ウィズアウト・ワーズ

ラムゼイ・ルイス（p）、ナンシー・ウィルソン（vo）、スタンリー・クラーク（b）、フレディ・ワシントン（b）、ポール・ジャクソン（g）、ジョン・ロビンソン（ds）、リッキー・ローソン（ds）、ドン・フリーマン（key）他
【録音】ロサンゼルス

ジャズ～ポップスを股にかけて活動するピアノ／キーボード奏者ラムゼイ・ルイスと、グラミー賞ジャズ・シンガーのナンシー・ウィルソンの初コラボレーション・アルバム。インストゥルメンタル曲とヴォーカル曲が交互に配された構成になっている。リオン・ウェアとデイヴィッド・フォスターが合作した「スリッピン・アウェイ」を始め、メロウでアーバンなナンバーをたっぷり味わうことができる。プロデュースは人気ベーシストのスタンリー・クラークが担当。

レジェンド・オブ・クロスオーヴァー&フュージョン 07

ラムゼイ・ルイス
Ramsey Lewis

1965年に「ジ・イン・クラウド」がビルボード・シングル・チャートのトップ5に入り、一躍ジャズの枠を超えたスター・ピアニストに。その後も「太陽の女神」、「テキーラ・モッキンバード」など数々の人気曲を放ち、80歳を超えた現在も精力的な活動を続けている。新人発掘にも定評があり、モーリス・ホワイト（のちにアース・ウインド&ファイアーを結成）など数々の逸材を育成した。

No.75

アコースティック・モダン・ジャズの第一線で活躍した名ピアニストが、珍しくエレクトリック・キーボードも手掛ける、1975年の異色作が遂に日本初CD化。

シダー・ウォルトン

メビウス

SICJ 307
1975年作品／Label：RCA／解説：原田和典
Stereo

2015年リマスター　日本初CD化

1 ブルー・トレイン／2 ソーホー／3 オフ・マイナー／4 ザ・マエストロ／5 ロード・アイランド・レッド

シダー・ウォルトン（key, synth）、ゴードン・エドワーズ（b）、スティーヴ・ガッド（ds）、川崎燎（g）、オマール・クレイ（perc）、レイ・マンティラ（perc）、ウェイン・アンドレ（tb）、フランク・フォスター（ts）、チャールス・デイヴィス（as, bs）、ロイ・バロウズ（tp, flh）他
【録音】1975年 ニューヨーク

60年代初頭にアート・ブレイキー&ジャズ・メッセンジャーズで頭角を現し、2013年に亡くなるまでアコースティック・モダン・ジャズの第一線で活躍した名ピアニストが、珍しくエレクトリック・キーボードも手掛ける、1975年の異色作が遂に日本初CD化。川崎燎やフランク・フォスターら才能豊かなミュージシャンを迎え、デューク・エリントンに捧げた「ザ・マエストロ」やファンキーな「ロード・アイランド・レッド」を快演する。

No.76

『メビウス』の好評を得て制作された、もう一枚の“エレクトリック・シダー・ウォルトン”。ジャズ・フュージョンからディスコまで、ファンク・サウンド全開。

シダー・ウォルトン

ビヨンド・メビウス

SICJ 308
1976年作品／Label：RCA／解説：原田和典
Stereo

2015年リマスター　日本初CD化

1 バッド・ラック／2 ロー・ライダー／3 ビヨンド・メビウス／4 ジャイヴ・トーキン／5 カナダの夕陽／6 ザ・ガール・ウィズ・ディスコティック・アイズ／7 ロンリー・カテドラル

シダー・ウォルトン（key, synth）、エリック・ゲイル（g）、コーネル・デュプリー（g）、ゴードン・エドワーズ（b）、チャールズ・コリンズ（ds）1 2 4 5 6、ジミー・ヤング（ds）3 5 7、エディ・ハリス（sax）、ブルー・ミッチェル（tp, flh）他　【録音】1976年 ニューヨーク

『メビウス』の好評を得て制作された、もう一枚の“エレクトリック・シダー・ウォルトン”。ジャズ・ファンク色はさらに増し、ウォーの「ロー・ライダー」やビージーズの「ジャイヴ・トーキン」もカヴァー。曲によってはアープ・シンセサイザーもフィーチャーされる。発足間もない“スタッフ”からゴードン・エドワーズ、エリック・ゲイル、コーネル・デュプリーの3人が参加しているのもアルバムの価値を高めている。

No.77

スピリチュアルかつメロウな音作りでジャズ・ファンク～フュージョン・シーンに不動の地位を築いたロニー・リストン・スミスが1978年にリリースした傑作。

ロニー・リストン・スミス

エキゾティック・ミステリーズ

SICJ 309
1978年作品／Label：Columbia／解説：佐藤英輔
Stereo

2009年リマスター　日本初CD化

1 スペース・プリンセス／2 クワイエット・モーメンツ／3 マジカル・ジャーニー／4 エキゾティック・ミステリーズ／5 シンギング・フォー・ラヴ／6 ミスティカル・ドリーマー（ア・トリビュート・トゥ・マイルス・デイビス）／7 黄昏／8 ナイト・フラワー

ロニー・リストン・スミス（p）、ロナルド・D. ミラー（g）、マーカス・ミラー（b）、ミルトン・ヒントン（b）、リノ・ライズ（ds）、ドナルド・スミス（vo, fl）スティーヴ・ソーントン（perc, congas）他　【録音】1978年

ファラオ・サンダースやガトー・バルビエリとの共演を経て、自身のグループ“コズミック・エコーズ”を結成。スピリチュアルかつメロウな音作りでジャズ・ファンク～フュージョン・シーンに不動の地位を築いたロニー・リストン・スミスが1978年にリリースした傑作がこれだ。実弟ドナルド・スミスが歌う人気曲「スペース・プリンセス」のほか、まだ10代だった頃のマーカス・ミラーのプレイもふんだんに楽しめる。

No.78

国際児童年（1979年）にリリースされた、ロニー・リストン・スミスから次世代を担う子供たちへのメッセージを込めた作品。

ロニー・リストン・スミス

ア・ソング・フォー・ザ・チルドレン

SICJ 310
1979年作品／Label：Columbia／解説：佐藤英輔
Stereo

2009年リマスター　日本初CD化

1 ア・ソング・フォー・ザ・チルドレン／2 ア・ラヴァーズ・ドリーム／3 アクエリアン・サイクル／4 ストリート・フェスティヴァル／5 ミッドサマー・マジック／6 ナイトライフ／7 ア・ギフト・オブ・ラヴ／8 フルーツ・ミュージック

ロニー・リストン・スミス（p, key）、マーカス・ミラー（b）、ピーター・ブラウン（b）6、ブッチ・キャンベル（g）3 8、ケヴィン J. ペリー（g）6、ロニー・ミラー（g）1 4 5 7、オーレル・レイ（g）3 8、リノ・レイエス（ds）、スティーヴ・ソーントン（perc, congas）他
【録音】1979年

国際児童年（1979年）にリリースされた、ロニー・リストン・スミスから次世代を担う子供たちへのメッセージ。アルバート・アイラーやシスター・スレッジの音作りに携わったバート・デコトーとの共同プロデュースで、バラエティに富んだ全8曲をパフォーマンス。マイルス・デイビス・バンド加入2年前のマーカス・ミラー、元ソニー・ロリンズ・バンドのオーレル・レイのプレイも冴える。

No.79

従来のスピリチュアルでメロウな音作りを生かしつつも、よりディスコ・テイストの強いサウンドに仕上げたコロンビア・レーベルでの最終作。

ロニー・リストン・スミス

ラヴ・イズ・ジ・アンサー

SICJ 311
1980年作品／Label：Columbia
解説：佐藤英輔
Stereo

1 イン・ザ・パーク／2 ラヴ・イズ・ジ・アンサー／3 スピーク・アバウト・イット／4 ブリッジ・スルー・タイム／5 オン・ザ・リアル・サイド／6 ジ・エンチャントレス／7 ギヴ・ピース・ア・チャンス／8 フリー・アンド・イージー
〈ボーナス・トラック〉**9 スペース・プリンセス（Special Disco Version）／10 ア・ソング・フォー・ザ・チルドレン（Special Version Of The 7inch Single）／11 ラヴ・イズ・ジ・アンサー（7inch Version）／12 ブリッジ・スルー・タイム（7inch Version）／13 ギヴ・ピース・ア・チャンス（7inch Version）／14 フリー・アンド・イージー（7inch Version）**

ロニー・リストン・スミス（p）、ビー・ウィー・フォード（b）、リノ・レイエス（ds）、アブドゥル・ワリ（g）、ローレンス・キリアン（perc, congas）、アサンテ（perc）、ジェームス・ロビンソン（vo）他
【録音】1980年 ニューヨーク

1980年に発表された、ロニー・リストン・スミスのコロンビア・レーベルでの最終作。従来のスピリチュアルでメロウな音作りを生かしつつも、よりディスコ・テイストを強調した内容となっている。のちにルーサー・ヴァンドロスの後任として R&B ユニット“チェンジ”に加入するジェームス・ロビンソンの歌声も力強い。クラブ・ミュージックの定番「スピーク・アバウト・イット」収録。6曲のボーナス・トラック収録。

日本初CD化
2017年リマスター

No.80

ドラマー / シンガー / プロデューサーのレオン・チャンクラーによる入魂のディスコ・ファンク作。

チョコレート・ジャム・カンパニー

ザ・スプレッド・オブ・ザ・フューチャー

SICJ 312
1979年作品／Label：Columbia／解説：金澤寿和
Stereo

2008年リマスター

1 ザ・フィーリング／2 ジャスト・アズ・ユー・アー／3 ディス・タイム／4 ドント・リーヴ・ミー・ナウ, スティ・ウィズ・ミー／5 ルッキング・グラス／6 スイート・チョコレート　a.マウンズ～b.スプレッド・オブ・ザ・フューチャー～c.ザ・パーティー～d.チョコレート・ジャム～ e.“ C ”オブ・チョコレート

レオン・ンドゥグ・チャンクラー(ds, vo)、ジョージ・デューク(key)、グレッグ・フィリンゲインズ(key)、ロニー・フォスター(key)、ヴァージニア・エアーズ(vo)、レオ・ミラー(vo)他

マイルス・デイビスのバンドを皮切りにウェザー・リポートやサンタナなどでも活動したドラマー / シンガー / プロデューサーのレオン・チャンクラーが、腕によりをかけておくる最高峰のディスコ・ファンク。デヴィッド・T・ウォーカー、アル・マッケイ(アース・ウインド&ファイアー)など黄金のメンバーを従え、一分の隙もないグルーヴを打ち出している。[“ C ” オブ・チョコレート」ではジョージ・デュークとロニー・フォスターのキーボード・バトルも。

No.81

Bellレーベル移籍第1弾作品。「寂しい夜」や「やさしく歌って」などの全米ヒットのカヴァー曲を中心に、全編に亘ってメロウ・ボッサの極致というべき世界を展開。

セルジオ・メンデス&ブラジル ’77

ラヴ・ミュージック

SICJ 313
1973年作品／Label：Arista / Bell／解説：金澤寿和
Stereo

2003年リマスター

1 ホエア・イズ・ザ・ラヴ／2 プット・ア・リトル・ラヴ・アウェイ／3 寂しい夜／4 やさしく歌って／5 ラヴ・ミュージック／6 ユー・キャント・ドレス・アップ・ア・ブロークン・ハート／7 太陽をみてごらん／8 ウォーク・ザ・ウェイ・ユー・トーク／9 愛は夢の中に／10 アイ・キャン・シー・クリアリー・ナウ

セルジオ・メンデス(p)、オスカー・カストロ・ネヴィス(g)、セバスチャン・ネト(b)、グラウディオ・スロン(ds)、ラウデール・ジ・オリヴェイラ(perc, congas)、パウリーニョ・ダ・コスタ(perc, congas)、ボブ・アルシーバー(key)、デニス・バディマー(g)、グラシーニャ・レポラーセ(vo)、ボニー・ボーデン(vo)　【録音】1973年

長年に亘って在籍したA&Mレーベルを離れ、Bellレーベルに移籍してリリースした第1弾作品。フィフス・ディメンションの音作りを手がけたボーンズ・ハウをプロデューサーに迎え、メロウ・ボッサの極致というべき世界を届ける。タイトル曲におけるキーボード・プレイの美しさも絶品。ジェイムス・ティラーの「寂しい夜」やロバータ・フラックの「やさしく歌って」などカヴァー曲も出色だ。

No.82

エレクトリック・マイルスの金字塔『アガルタ』『パンゲア』等に呪術的なビートを提供した打楽器のカリスマ、エムトゥーメイの代表作。

エムトゥーメイ

ジューシー・フルーツ

SICJ 314
1983年作品／Label：Epic
解説：金澤寿和
Stereo

1 グリーン・ライト／2 ジューシー・フルーツ／3 ヒップス／4 ウッド・ユー・ライク・トゥ／5 ユア・ラヴズ・トゥー・グッド／6 ヒップ・ディップ・スキップダビート／7 レディ・フォー・ユア・ラヴ／8 ジ・アフター・シックス・ミックス
〈ボーナス・トラック〉
9 ジューシー・フルーツ(Vocal)／10 ジューシー・フルーツ(“ Fruity ” Instrumental Mix)／11 ウッド・ユー・ライク・トゥ(12 ”)／12 レッツ・フール・アラウンド(Word)(Sensual Instrumental)／13 グリーン・ライト(Vocal Mix)／14 グリーン・ライト(Instrumental)／15 プライム・タイム(12 ”)

ジェームス・エムトゥーメイ(vo, key)、エド・ムーア(g)、フィリップ・フィールズ(key)、レイモンド・ジャクソン(b)、タワサ・エイジー(vo, perc)他
【録音】1982年

2015年リマスター

エレクトリック・マイルスの金字塔『アガルタ』『パンゲア』等に呪術的なビートを提供した打楽器のカリスマ、エムトゥーメイ。これは彼自身のユニットによる第3作で、表題曲はアリシア・キーズ、スヌープ・ドッグ、フェイス・エヴァンスら無数のアーティストにサンプリングされた。P-ファンクの重鎮バーニー・ウォーレル、スピリチュアル・ジャズの名門バンド“ NTU TROOP ”の首領ゲイリー・バーツ等、参加ミュージシャンも豪華。

No.83

“ ジャズ・ファンクのフルート・クイーン ”、ボビー・ハンフリーのEpic移籍第2弾。

ボビー・ハンフリー

フリースタイル

SICJ 315
1978年作品／Label：Epic／解説：佐藤英輔
Stereo

2008年リマスター

1 ホームメイド・ジャム／2 マイ・デスティニー／3 アイ・クッド・ラヴ・ユー・モア／4 サンセット・バーガンディ／5 フリースタイル／6 イフ・ユー・ウォント・イット／7 イフ・ユー・レット・ミー／8 グッド・タイムズ

ボビー・ハンフリー(fl)、スティーヴィー・ワンダー(harm)、リチャード・ティー(key)、エリック・ゲイル(g)、アンソニー・ジャクソン(b)、マーカス・ミラー(b)、スティーヴ・ガッド(ds)他
【録音】1978年1～2月 ニューヨーク

今世紀に入ってからもブルーイ(インコグニート)らとの共演で話題を集める“ ジャズ・ファンクのフルート・クイーン ”、ハンフリーのEpic移籍第2弾。ブルーノート時代から定評のあるメロディ・センス、ファンク・フィーリングはそのままに、よりゴージャスになった音作りで引き付ける。代表曲のひとつ「ホームメイド・ジャム」、まだ10代だったマーカス・ミラーのベースが活躍する「サンセット・バーガンディ」収録。

No.84

コロンビア移籍第3弾。アナログ盤ではA面全てを占めていた(CDではトラック1～6)、計18分に亘るノン・ストップ・ダンス・メドレーは圧巻!

マリーナ・ショウ

テイク・ア・バイト

SICJ 316
1979年作品／Label：Columbia／解説：佐藤英輔
Stereo

2001年リマスター

1 イット・ウォズ・ア・ベリー・グッド・イヤー / アイム・ア・フォスター・チャイルド／2 ラヴ・ダンシン／3 イット・ウォズ・ア・ベリー・グッド・イヤー / アイム・ア・フォスター・チャイルド／4 アイ・サンキュー／5 イット・ウォズ・ア・ベリー・グッド・イヤー / アイム・ア・フォスター・チャイルド／6 タッチ・ミー・イン・ザ・モーニング／7 ショウ・ビズ / サドンリー・イッツ・ハウ・アイ・ライク・トゥ・フィール / ショウ・ビズ／8 ノー・ワン・イェット／9 ハヴント・ウィ・ビーン・イン・ラヴ・ビフォア?／10 アイル・ビー・ユア・フレンド

マリーナ・ショウ(vo)、アラン・シュワルツバーグ(ds)、ジェフ・ミロノフ(g)、リッチ・トリファン(synth)、エド・ウォルシュ(synth)、ヨギ・ホートン(perc)、ニール・リー(b)他　【録音】1979年

『フー・イズ・ジス・ビッチ、エニウェイ?』だけがマリーナ・ショウの傑作ではない。コロンビア移籍第3弾となる本作では、あの「スターウォーズ・ディスコ」のミーコ、ジョン・ボン・ジョヴィのいとこのトニー・ボンジョヴィ他をプロデューサーに迎え、よりポップかつディープに迫る。アナログ盤ではA面全てを占めていたトラック1～6は、計18分のノン・ストップ・ダンス・メドレー!

No.85 知的でクール。テクニックと歌心を兼ね備えたトランペッター、クリスの代表作。

クリス・ボッティ

ナイト・セッションズ

SICJ 317
2001年作品／Label：Columbia／解説：工藤由美
Stereo

2001年マスター

1 リサ／**2** マイアミ・オーヴァーナイト／**3** ストリーツ・アヘッド／**4** インタールード／**5** オール・ウッド・エンヴィ／**6** ベスト・タイム／**7** ホェン・アイ・シー・ユー／**8** ユー・ムーヴ・ミー／**9** ブルー・ホライズン／**10** ライト・ザ・スターズ／**11** スルー・アン・オーブン・ウィンドウ／**12** イースター・パレード

クリス・ボッティ(tp)、キッパー(key, prog.)、ドミニク・ミラー(g)、ジミー・ジョンソン(b)、ヴィニー・カリウタ(ds)、ショーン・コルヴィン(vo)、クリスチャン・マクブライド(b)

“ナショナル・スムース・ジャズ・アワード”で「アルバム・オブ・ザ・イヤー」「最優秀男性アーティスト」「最優秀ブラス・プレイヤー」の3部門に輝いたクリスの代表作。ドミニク・ミラー、ヴィニー・カリウタ、クリスチャン・マクブライドなど第一級のミュージシャンを迎え、最高峰のテクニックと歌心を兼ね備えたトランペット・プレイを披露する。スティングが提供した「オール・ウッド・エンヴィ」では、ショーン・コルヴィンの歌声もフィーチャー。

No.86 “トランペットの貴公子”、クリスの流麗なプレイがロマンティックな雰囲気へといざなう快作。

クリス・ボッティ

サウザンド・キッシズ・ディープ

SICJ 318
2003年作品／Label：Columbia／解説：佐藤英輔
Stereo

2003年マスター

1 インディアン・サマー／**2** ドゥ・イット・イン・ラグジュアリー／**3** ザ・ルック・オブ・ラヴ(恋の面影)／**4** ア・サウザンド・キッズ・ディープ／**5** エヴァー・シンス・ウィ・メット／**6** バック・イントゥ・マイ・ハート／**7** マイ・ファニー・ヴァレンタイン／**8** ザ・ラスト・スリー・ミニッツ／**9** イフ・アイ・クッド／**10** シー・カムス・フロム・サムホェア／**11** ラヴ・ゲッツ・オールド
〈ボーナス・トラック〉**12** 1984

クリス・ボッティ(tp)　【録音】2003年

スティングやポール・サイモンなどロック・スターからも引く手あまたの“トランペットの貴公子”、クリスの流麗なプレイが際立つ一作。美しいメロディを持つオリジナル曲に加え、ダイアナ・クラールも歌ったバート・バカラック作「ザ・ルック・オブ・ラヴ(恋の面影)」、チェット・ベイカーの名演でも知られる「マイ・ファニー・ヴァレンタイン」などのスタンダード・ナンバーもカヴァー。これ以上ないほどロマンティックな雰囲気へといざなう。

No.87 代表曲「ザ・モーメント」をはじめ、多くの人気曲を収録した傑作! ベイビーフェイス、トニ・ブラクストンがゲスト参加。

ケニー・G

ザ・モーメント～ハバナ・リミックス・プラス

1 ザ・モーメント／**2** パッセージズ／**3** ハバナ／**4** オールウェイズ／**5** ザット・サムバディ・ワズ・ユー(with トニ・ブラクストン)／**6** ザ・チャンピオンズ・テーマ／**7** イーストサイド・ジャム／**8** ムーンライト／**9** ゲッティン・オン・ザ・ステップ／**10** エヴリタイム・アイ・クローズ・マイ・アイズ(with ベイビーフェイス)／**11** ノーザン・ライツ／**12** イノセンス／**13** リメンバー／**14** ハバナ(A/Cミックス)

ケニー・G(sax)、ウォルター・アファナシェフ(key)、マイケル・トンプソン(g)、グレッグ・フィリンゲインズ(p)、シーラ・E(perc)、パウリーニョ・ダ・コスタ(perc)、トニ・ブラクストン(vo)、ベイビーフェイス(vo, key)

SICJ 319
1996年作品／Label：Arista
解説：金澤寿和
Stereo

1996年マスター

アメリカの国民的サックス奏者、ケニー・Gの全米コンテンポラリー・ジャズ・チャート1位を獲得した大ヒット・アルバム『ザ・モーメント』の新装版。人気R&Bシンガー、トニ・ブラクストンとベイビーフェイスが参加していることでも話題を集めた。テレビ番組で話題となり、今や日本で最も知られた代表曲「ザ・モーメント」、日本航空のテレビCMで使用された「ハバナ」、1996年アトランタ五輪のために書かれた「ザ・チャンピオンズ・テーマ」などを収録。

No.88 全編にわたりオーケストラや錚々たるプレイヤーを従えた豪華なスタンダード集。「この素晴らしき世界」ではルイ・アームストロングとヴァーチャル共演が実現!

ケニー・G

クラシックス～キー・オブ・ケニー・G

SICJ 320
1999年作品／Label：Arista／解説：工藤由美
Stereo

1999年マスター

1 サマータイム feat. ジョージ・ベンソン／**2** 恋のおもかげ／**3** この素晴らしき世界/ルイ・アームストロング with ケニー・G／**4** ジザフィナード／**5** イン・ア・センチメンタル・ムード／**6** イパネマの娘 feat. ベベウ・ジルベルト／**7** ストレンジャー・オン・ザ・ショアー／**8** ボディ・アンド・ソウル／**9** ラウンド・ミッドナイト／**10** 虹の彼方へ／**11** イパネマの娘[Instrumental Ver.]

ケニー・G(sax)、ウォルター・アファナシェフ(key)、ネイザン・イースト(b)、リッキー・ローソン(ds)、グレッグ・フィリンゲインズ(key)、ランディ・ウォルドマン(p)、パウリーニョ・ダ・コスタ(perc)、ジョージ・ベンソン(g)、ベベウ・ジルベルト(vo)

数多のジャズ・フュージョン系ミュージシャンの中でも破格のポピュラリティを持つ人気者、ケニー・Gが初めて制作したスタンダード集。「サマータイム」ではジョージ・ベンソンと共演、「この素晴らしき世界」では生前のルイ・アームストロングとのヴァーチャル・デュオを披露。グレッグ・フィリンゲインズ、ネイザン・イースト、リッキー・ローソンら錚々たるミュージシャン陣も話題を呼んだ。歳月を超えて心に迫る名曲の魅力と、深みを増したサックスの音色が快い。

No.89 ウォルター・アファナシェフのもとで、洗練を極めた2000年代の代表作。人気R&Bシンガー、ブライアン・マクナイトとシャンテ・ムーアの参加も話題に。

ケニー・G

パラダイス

SICJ 321
2002年作品／Label：Arista／解説：佐藤英輔
Stereo

2002年マスター

1 ブラジル／**2** パラダイス／**3** マリブ・ドリームス／**4** ワン・モア・タイム feat. シャンテ・ムーア／**5** スパニッシュ・ナイツ／**6** シーサイド・ジャム／**7** オーシャン・ブリーズ／**8** フォーリング・イン・ザ・ムーンライト／**9** オール・ザ・ウェイ feat. ブライアン・マクナイト／**10** ミッドナイト・マジック／**11** ピース／**12** ハーモニー

ケニー・G(sax)、シャンテ・ムーア(vo)、ブライアン・マクナイト(vo)、ウォルター・アファナシェフ(key)、マイケル・ランドウ(g)、フィル・アップチャーチ(g)、グレッグ・フィリンゲインズ(key)他

人気R&Bシンガー、ブライアン・マクナイトとシャンテ・ムーアのゲスト参加も評判を呼んだ、ケニー・Gの2000年代の代表作。マライア・キャリーやセリーヌ・ディオンの音作りにも携わってきた大物プロデューサー、ウォルター・アファナシェフとのパートナーシップをさらに深め、ブラジル～ラテン寄りに洗練されたテイストがますます心地よい。もちろん表題曲「パラダイス」を筆頭に、メロウなサックスの音色が輝くバラードも満喫できる。

No.90

ウォルター・ベッカーがプロデュースした、再評価必至のコンテンポラリー・ジャズ・ユニッド ロスト・トライブ "のファースト・アルバムが約25年ぶりに復活。

ロスト・トライブ

失われた部族

SICJ 322
1993年作品／Label:Windham Hill／解説:原田和典
Stereo

2017年リマスター

1 神話／2 ディック・トレイシー／3 プロセッション／4 編集者への手紙／5 イアガズム／6 サイ（犀）／7 モフンゴ／8 スペース／9 フォー・ディレクションズ／10 愚かな思考／11 テンダー・アズ・ザ・ウィンド／12 原因と結果

ロスト・トライブ:フィマ・エフロン（b）、デヴィッド・ビニー（as）、デヴィッド・ギルモア（g）、ベン・ペロウスキー（ds）、アダム・ロジャース（g） 【録音】1993年

スティーリー・ダンのウォルター・ベッカーがプロデュースした、再評価必至のニューヨーク出身のコンテンポラリー・ジャズ・ユニッド" ロスト・トライブ "のファースト・アルバムが約25年ぶりに復活。のちにマイケル・ブレッカーのバンドに抜擢されるアダム・ロジャースを筆頭に、デヴィッド・ビニー、ベン・ペロウスキーら、21世紀ジャズのカリスマたちの若き日の姿を満喫できる。

No.91

幻のユニットのファースト・アルバムが遂に日本初CD化。ジャズ、ロック、ミニマル・ミュージック等を超越した形容不能の音世界を展開。再評価必至の一枚。

グループ87

グループ87

SICJ 323
1980年作品／Label：Columbia／解説：原田和典
Stereo

2000年リマスター　日本初CD化

1 フューチャー・オブ・ザ・シティ／2 マグニフィセント・クロックワークス／3 フロンティアーズ 1856／4 サプライム・フィーライン／5 ザ・ベドウィン／6 ホワイル・ザ・シティ・スリープス／7 ムーヴィング・サイドウォークス／8 ホール・オブ・グラス／9 ワン・ナイト・アウェイ・フロム・デイ

グループ87:マーク・アイシャム（b, key, brass）、パトリック・オハーン（b）、ピーター・マウヌウ（g, key, vn）テリー・ボジオ（ds）、ピーター・ウルフ（p）
【録音】1980年

マーク・アイシャム（「ショート・カッツ」や「ブラック・ダリア」他のサントラで著名）、パトリック・オハーン（フランク・ザッパ・バンド）、ピーター・マウヌウ（ビリー・コブハム・バンド）が集った幻のユニッド" グループ87 "のファースト・アルバムが遂に日本初CD化。ジャズ、ロック、ミニマル・ミュージック等を超越した形容不能の音世界は現代を予見していたかのよう。再評価必至の一枚。

No.92

英国が世界に誇る鬼才、マイク・ウェストブルック率いるオーケストラの名作が遂に日本初CD化。天衣無縫な即興とポップかつスケールの大きな曲作りが融合。

マイク・ウェストブルック

メトロポリス

SICJ 324
1971年作品／Label：Columbia／解説：原田和典
Stereo

2017年リマスター　日本初CD化

1 パートI／2 パートII／3 パートIII／4 パートIV／5 パートV／6 パートVI／7 パートVII／8 パートVIII／9 パートIX

マイク・ウェストブルック（p）、クリス・ローレンス（b）、アラン・ジャクソン（ds）、ゲイリー・ボイル（g）、ジョン・テイラー（p）、ジョージ・カーン（ts）、アラン・スキドモア（ss, ts）、ハロルド・ベケット（flh）、ヘンリー・ロウサー（flh）、デレク・ワズワース（tb）、ノーマ・ウィンストン（vo）他
【録音】1971年8月 ロンドン

英国が世界に誇る鬼才、マイク・ウェストブルック率いるオーケストラの名作が遂に日本初CD化。ノーマ・ウィンストン、ジョン・テイラー、アラン・スキドモアなどブリティッシュ・ジャズの先鋭達や、のちにロック・ギタリストとして人気を博すゲイリー・ボイルなどが参加。天衣無縫な即興とポップかつスケールの大きな曲作りが融合した、まさしくウェストブルック・サウンドのエッセンスが詰まったアルバム。

No.93

鬼才キーボード奏者・鈴木宏昌のもとに凄腕ミュージシャンが集まった伝説のフュージョン・グループ、ザ・プレイヤーズの記念すべきデビュー・アルバム。

ザ・プレイヤーズ

ギャラクシー

SICJ 325
1979年作品／Label:SMJI／解説：原田和典
Stereo

2007年DSDマスタリング

1 ギャラクシー／2 イン・ユア・マインド／3 アンスウィーテンド／4 カレイドスコープ／5 ヘヴンリー・メイドン／6 マジック・ランプ／7 サニー・サイドウォーク／8 ミスティー・ムーンライト

ザ・プレイヤーズ:鈴木宏昌（p, key）、山口真文（ss, ts）、松木恒秀（g）、岡沢章（b）、渡嘉敷祐一（ds）、穴井忠臣（congas, perc）
【録音】1979年4月 東京 CBS・ソニー・スタジオ

鬼才キーボード奏者・鈴木宏昌のもとに、松木恒秀、岡沢章、渡嘉敷祐一、山口真文ら凄腕ミュージシャンが集まった伝説のフュージョン・グループ、ザ・プレイヤーズが1979年に放ったデビュー・アルバム。ウェザー・リポートへのシンパシーを感じさせるサウンド作り、白熱するソロの連続が歳月を超えて胸に迫る。日本のフュージョン史上、欠くことのできない一枚。

No.94

ニューヨークのトップ・プレイヤー達と共に、タイトでファンキーなサウンドを展開する1976年リリースの傑作アルバム。

川崎燎

ジュース

SICJ 326
1976年作品／Label:RCA／解説：石沢功治
Stereo

2004年リマスター

1 レーズンズ／2 サムタイム／3 そよ風と私／4 イースト・サイド・ブギ／5 エル・トロ／6 バンブー・チャイルド（かぐや姫）／7 アンデス

川崎燎（g）、ストゥ・ウッズ（b）、ジミー・ヤング（ds）、トム・コスター（key, synth）、ヒュー・マクラッケン（g）、マイク・リプスキン（synth, perc）、サム・モリソン（ss, ts, fl）、ムハンマド・アブドゥラー（perc）他
【録音】1976年 ニューヨーク

変幻自在のギター・プレイ、極太のドラム・ビートに引き込まれる。エルヴィン・ジョーンズやギル・エヴァンスのバンドでも活躍したギタリスト、川崎燎がアメリカのメジャー・レーベル" RCA "からリリースした傑作ジャズ・ファンク・アルバム。エレクトリック・マイルス期、最後のサックス奏者であるサム・モリソンの参加も嬉しい。パフ・ダディ他がサンプリングした「バンブー・チャイルド（かぐや姫）」を筆頭に、すべてが名演!

レジェンド・オブ・クロスオーヴァー&フュージョン 08

川崎燎

Ryo Kawasaki

日本大学在学中からプロのジャズ・ギタリストとして活動を始め、1973年ニューヨークに移住。ギル・エヴァンス、エルヴィン・ジョーンズらのバンドに加入するとともに、大手レーベル"RCA"と契約、『ジュース』で全米デビューを飾った。70年代後半にはギター・シンセサイザーを開発している。現在はエストニアの首都タリン在住。今年6月には来日公演を行った。

No.95

鬼才ギタリスト、川崎燎が1979年にリリースした傑作。ニュアンスに富んだギター・プレイ、ラーダ・ショッタムの伸びやかなヴォーカルは時代を超えて新鮮な香りを放つ。

川崎燎～フィーチャリング・ラーダ・ショッタム

ミラー・オブ・マイ・マインド

SICJ 327
1979年作品／Label:SMJ1／解説:石沢功治
Stereo
2017年リマスター

1 トゥリンケッツ&シングス／**2** アイヴ・ファウンド・ザ・ウェイ・オブ・ラヴ／**3** ドリームス・フォー・ラーダ・パート1、2、3／**4** ブラジリアーナ／**5** ウィンターズ・ヒア／**6** イン・アンド・アウト・オブ・ラヴ／**7** リトル・ワン

川崎燎(g)、ラーダ・ショッタム(vo, hand clap)、レオン・ベンダーヴィス(p)、アンソニー・ジャクソン(b)、ハーヴィー・メイソン(ds)、ルーベンス・バッシーニ(congas, perc, hand clap)、ジョージ・マージ(fl)**1**、マイケル・ブレッカー(ts)**1 5** 他
【録音】1979年4月 ニューヨーク

1973年にニューヨークへ渡り、ギル・エヴァンスやエルヴィン・ジョーンズと共演。現在もワールドワイドな活動を続ける鬼才ギタリスト、川崎燎が伝説のフュージョン・レーベル“オープン・スカイ”から1979年にリリースした傑作。ニュアンスに富んだギター・プレイ、ラーダ・ショッタムの伸びやかなヴォーカルは時代を超えて新鮮な香りを放つ。クラブ・ジャズの聖典「トゥリンケッツ&シングス」収録。

No.96

日本が誇るジャズ～ソウル・ディーヴァ、笠井紀美子が1976年に発表したヒット作。

笠井紀美子

フォール・イン・ラヴ

SICJ 328
1976年作品／Label:SMJ1／解説:原田和典
Stereo
2017年リマスター

1 フォール・イン・ラブ／**2** イン・コモン／**3** ラブ・ドント・ラブ・ノーバディ／**4** マスカレード／**5** ゴッド・ブレス・ザ・チャイルド／**6** ビーイング・イン・ラブ／**7** アロング・ザ・ナイル／**8** モア・ザン・イエスタデイ

【録音】1976年

日本が誇るジャズ～ソウル・ディーヴァ、笠井紀美子が1976年に発表したヒット作。マイルス・デイビスの数々の傑作で知られるテオ・マセロがプロデュースを担当し、シカゴ・ジャズ・ファンク界のボス的存在であるリチャード・エヴァンスがアレンジを担当。折からのディスコ・ムーヴメントも意識しながら、「マスカレード」等のカヴァーから書き下ろしのナンバーまで、溢れんばかりのフィーリングで歌いあげている。

No.97

ハービー・ハンコックとの本格的な初コラボレーションを記録した1978年リリース作品。

笠井紀美子

ラウンド・アンド・ラウンド

SICJ 329
1978年作品／Label:SMJ1／解説:原田和典
Stereo
2017年リマスター

1 ラウンド・アンド・ラウンド／**2** ドント・フォーゲット・ユー・アー／**3** ナッシン・バット・ユー／**4** スターダスト／**5** カメレオン／**6** ザ・レスト・オブ・マイ・ライフ／**7** チェイン・リアクション／**8** エヴリシング・マスト・チェンジ

笠井紀美子(vo)、ハービー・ハンコック(synth)、シダー・ウォルトン(el-p)、ベニー・モウピン(ts)、デール・ウォーレン(key, perc)、ポール・ジャクソン(b)、グレッグ・ボリー(g)、ケニー・エリオット(ds)、ビル・サマーズ(perc)、ザ・ウォーターズ(vo)他
【録音】1978年5～6月 サンフランシスコ オートマット・スタジオ

ハービー・ハンコックとの本格的な初コラボレーションを記録した1978年リリース作品。ジョン・ルシアンの隠れた名曲「ラウンド・アンド・ラウンド」、クインシー・ジョーンズやジョージ・ベンソンもとりあげた「エヴリシング・マスト・チェンジ」、ハービーの名曲「カメレオン」のヴォーカル・ヴァージョンなど、すべてがクライマックスと呼ぶに値する。笠井とハービーは翌年に再共演、あの金字塔『バタフライ』を生む。

No.98

人気サックス奏者、土岐英史のブラジル音楽に対する熱い思い入れと研究の成果が見事に結実したアルバム。

土岐英史とサンバ・フレンズ

ブラジル

SICJ 330
1981年作品／Label:SMJ1／解説:佐藤英輔
Stereo
2007年リマスター

1 マラカナ／**2** モレーナ／**3** ブラジル／**4** リカード／**5** ジンジ／**6** チジューカ／**7** ミーニャ・サウダージ

土岐英史とリオ・ソン:土岐英史(ss, as)、エリオ・セルソ(p)、中村善郎(g)、アルベルト・ペセーラ(b)、アルマンド・アラウージョ(ds)、フランシス・シルヴァ(perc)
レイラ・マリア(vo)、松岡直也(p)、向井滋春(tb)、和田アキラ(g)
【録音】1981年3～4月

山下達郎との共演や、人気グループ“チキンシャック”での活動でも高い支持を誇るアルト・サックス奏者が、ブラジリアン・サウンドに臨んだ人気アルバム。アントニオ・カルロス・ジョビン作「ジンジ」、数多くのモダン・ジャズ系ミュージシャンに愛されてきた「リカード」など決定的名曲を、松岡直也、向井滋春、和田アキラ、フランシス・シルヴァ等、日伯混成グループを率いて熱演。

No.99

日本の伝統音楽を素材に、日本、アメリカ、ブラジル、ペルーの鬼才が展開する音世界。

佐藤允彦

セレクト・ライヴ・アンダー・ザ・スカイ ’90

SICJ 331
1990年作品／Label:SMJ1／解説:村井康司
Stereo
2017年リマスター

1 磯浦網引き唄／**2** 陵王伝／**3** 捨丸囃子／**4** 井戸替え唄／**5** 田の畔(くろ)節／**6** 轡散・うっぽぽ／**7** 稲(いに)が種(だに)あよー

佐藤允彦(key)、アレックス・アクーニャ(ds)、レイ・アンダーソン(tb)、土方隆行(g)、峰厚介(sax)、岡沢章(b)、ウェイン・ショーター(sax)、高田みどり(perc)、梅津和時(sax)、ナナ・バスコンセロス(perc)
【録音】1990年7月28・29日 ライヴ

語り草となっている、野外フェス「ライヴ・アンダー・ザ・スカイ」でただ一度だけ披露された伝説的パフォーマンスをアルバム化。日本の伝統音楽を素材に、日本、アメリカ、ブラジル、ペルーの鬼才が壮大な音世界を繰り広げる。音楽監督を務めた佐藤允彦の才気、ウェイン・ショーターとナナ・バスコンセロスの絡み、リズム・セクションのうねり…鳥肌ものの瞬間が続出する。

No.100

深化と進化をとげたアフロ・スピリチュアル・ジャズを繰り広げた傑作ライヴ作品。

渡辺貞夫

ムバリ・アフリカ

SICJ 332～3
1974年作品／Label:SMJ1／解説:原田和典
Stereo
2000年DSDマスタリング　2枚組

Disc-1 **1** イタ／**2** バハリ・プワニ／**3** ジャンボ・プワナ／**4** アフロ・トーク／**5** ヒップ・ウォーク／**6** タンザニア・ヤコ
Disc-2 **1** タヌ・ソング／**2** マサイ・ソング～マサイ・ステップ／**3** タンザニア・エ～ファンキー・タンザニアン／**4** サバ・サバ／**5** ハバリ・ヤコ／**6** ムバリ・アフリカ／**7** アンコール

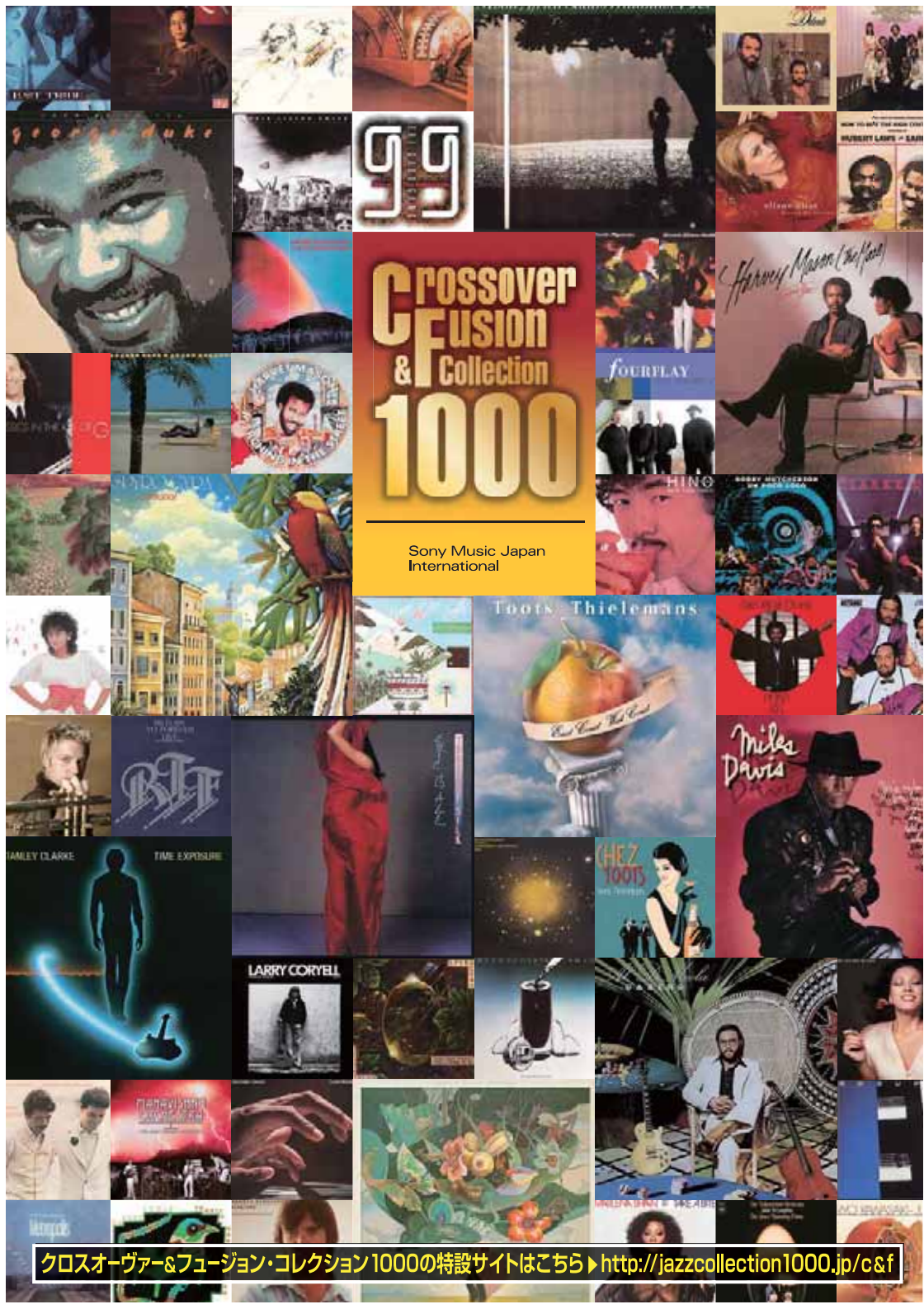
渡辺貞夫(as, ss, fl)、日野皓正(tp)、本田竹曠(p)、鈴木勲(b)、日野元彦(ds)、宮田英夫(ts, perc)、富樫雅彦(perc)、岡沢章(el-b)、渡辺香津美(g) 【録音】1974年9月20日

アフリカ滞在からインスピレーションを得た名盤『サダオ・ワタナベ』から2年、さらに深化と進化をとげたアフロ・スピリチュアル・ジャズを繰り広げた1974年の傑作ライヴ作品。長きにわたる演奏仲間である富樫雅彦や日野皓正、次世代を担う若手として注目を集めていた本田竹曠や渡辺香津美など錚々たるメンバーを従えて、切れ味鋭いサックス・プレイで圧倒する。

CROSSOVER & FUSION COLLECTION 1000

1CD ￥1,000+税／★2CD ￥1,500＋税

	アーティスト	タイトル	品番 SICJ	No.	ページ	チェック欄
ア	アル・ディ・メオラ	カジノ	295	63	13	☐
	アル・ディ・メオラ	シナリオ	297	65	14	☐
	アル・ディ・メオラ	スプレンディド・ホテル	296	64	13	☐
	イリアーヌ	キスト・バイ・ネイチャー	276	45	10	☐
	イリアーヌ	夢そよぐ風	277	46	10	☐
	ウェイン・ショーター	アトランティス	239	8	2	☐
	ウェイン・ショーター	ジョイ・ライダー	240	9	2	☐
	ウェザー・リポート	ウェザー・リポート 81	235	5	2	☐
	ウェザー・リポート	ドミノ・セオリー	236	6	2	☐
	ウェザー・リポート	ナイト・パッセージ	234	4	1	☐
	ウェザー・リポート	ブラック・マーケット	233	3	1	☐
	ウェザー・リポート	ライヴ&アンリリースド	237-8	7	2	☐
	ウォーレン・バーンハート	フローティング	292	60	12	☐
	エムトゥーメイ	ジューシー・フルーツ	314	82	17	☐
	エリック・ゲイル	タッチ・オブ・シルク	251	20	4	☐
	エリック・ゲイル	パート・オブ・ユー	250	19	4	☐
カ	笠井紀美子	フォール・イン・ラヴ	328	96	20	☐
	笠井紀美子	ラウンド・アンド・ラウンド	329	97	20	☐
	川崎燎	ジュース	326	94	19	☐
	川崎燎〜フィーチャリング・ラーダ・ショータム	ミラー・オブ・マイ・マインド	327	95	20	☐
	キャンディ・ダルファー	サクシュアリティ	275	44	9	☐
	クラーク・デューク・プロジェクト	II	253	22	5	☐
	クリス・ボッティ	サウザンド・キッシズ・ディープ	318	86	18	☐
	クリス・ボッティ	ナイト・セッションズ	317	85	18	☐
	グループ87	グループ87	323	91	19	☐
	ケニー・G	クラシックス〜キー・オブ・ケニー・G	320	88	18	☐
	ケニー・G	ザ・モーメント〜ハバナ・リミックス・プラス	319	87	18	☐
	ケニー・G	パラダイス	321	89	18	☐
	コンポスト	テイク・オフ・ユア・ボディ	246	15	3	☐
	コンポスト	ライフ・イズ・ラウンド	247	16	4	☐
サ	ザ・ガッド・ギャング	ライヴ・アット・ザ・ボトムライン	271	40	8	☐
	佐藤允彦	セレクト・ライヴ・アンダー・ザ・スカイ 90	331	99	20	☐
	ザ・プレイヤーズ	ギャラクシー	325	93	19	☐
	ザ・ヘッドハンターズ	サヴァイヴァル・オブ・ザ・フィッテスト	302	70	15	☐
	ザ・ヘッドハンターズ	ストレイト・フロム・ザ・ゲイト	303	71	15	☐
	シダー・ウォルトン	ビヨンド・メビウス	308	76	16	☐
	シダー・ウォルトン	メビウス	307	75	16	☐
	ジャコ・パストリアス	ジャコ・パストリアスの肖像	231	1	1	☐
	ジョージ・デューク	ドント・レット・ゴー	258	27	6	☐
	ジョージ・デューク	フロム・ミー・トゥ・ユー	256	25	6	☐
	ジョージ・デューク	ライト・メッセージ	259	28	6	☐
	ジョージ・デューク	リーチ・フォー・イット	257	26	6	☐
	ジョン・マクラフリン&カルロス・サンタナ	魂の兄弟たち	242	11	3	☐
	ジョン・マクラフリン&マハヴィシュヌ・オーケストラ	内に秘めた炎	243	12	3	☐
	ジョン・マクラフリン&マハヴィシュヌ・オーケストラ	ザ・ロスト・トライデント	245	14	3	☐
	ジョン・マクラフリン・ウィズ・マハヴィシュヌ・オーケストラ	虚無からの飛翔	244	13	3	☐
	スタンリー・クラーク	ジャーニー・トゥ・ラヴ	254	23	5	☐
	スタンリー・クラーク	タイム・エクスポージャー	255	24	5	☐
	スティーヴ・カーン	アロウズ	252	21	5	☐
	スパイロ・ジャイラ	カルナヴァル	289	57	12	☐
	スパイロ・ジャイラ	キャッチング・ザ・サン	288	56	12	☐
	スパイロ・ジャイラ	フリータイム	290	58	12	☐
	セルジオ・メンデス&ブラジル 77	ラヴ・ミュージック	313	81	17	☐
タ	チョコレート・ジャム・カンパニー	ザ・スプレッド・オブ・ザ・フューチャー	312	80	17	☐
	トゥーツ・シールマンス	イースト・コースト、ウェスト・コースト	273	42	9	☐
	トゥーツ・シールマンス	コラージュ	272	41	8	☐
	トゥーツ・シールマンス	シェ・トゥーツ〜思い出のフレンチ、そしてジャズ	274	43	9	☐
	土岐英史とサンバ・フレンズ	ブラジル	330	98	20	☐
	トム・スコット	アップル・ジュース	249	18	4	☐
	トム・スコット	ストリート・ビート	248	17	4	☐
	トリオ・オブ・ドゥーム	トリオ・オブ・ドゥーム	241	10	3	☐
ハ	ハーヴィー・メイソン	M・V・P・	270	39	8	☐
	ハーヴィー・メイソン	グルーヴィン・ユー	269	38	8	☐
	ハーヴィー・メイソン	マーチング・イン・ザ・ストリート	268	37	8	☐
	ハービー・ハンコック	サウンド・システム	301	69	14	☐
	ハービー・ハンコック	フューチャー・ショック	300	68	14	☐
	日野皓正	トレード・ウィンド	281	50	10	☐
	日野皓正	ニューヨーク・タイムズ	280	49	10	☐
	ヒューバート・ロウズ	ロミオとジュリエット	260	29	6	☐
	ヒューバート・ロウズ&アール・クルー	ハウ・トゥ・ビート・ザ・ハイ・コスト・オブ・リヴィング	261	30	7	☐
	フォープレイ	X	267	36	8	☐
	フォープレイ	ジャーニー	266	35	7	☐
	ブレッカー・ブラザーズ	ストラップ・ハンギン	284	53	11	☐
	ブレッカー・ブラザーズ	デタント	283	52	11	☐
	ブレッカー・ブラザーズ	ヘビー・メタル・ビ・バップ	282	51	11	☐
	ベン・シドラン	フリー・イン・アメリカ	291	59	12	☐
	ボビー・ハッチャーソン	ウン・ポコ・ロコ	265	34	7	☐
	ボビー・ハッチャーソン	ハイウェイ・ワン	264	33	7	☐
	ボビー・ハンフリー	フリースタイル	315	83	17	☐
マ	マイク・ウェストブルック	メトロポリス	324	92	19	☐
	マイルス・デイビス	ザ・マン・ウィズ・ザ・ホーン	298	66	14	☐
	マイルス・デイビス	ユア・アンダー・アレスト	299	67	14	☐
	マリーナ・ショウ	テイク・ア・バイト	316	84	17	☐
	マリーン	マジック	278	47	10	☐
	マリーン	ルッキング・フォー・ラヴ	279	48	10	☐
	メイナード・ファーガソン	カメレオン	263	32	7	☐
	メイナード・ファーガソン	プライマル・スクリーム	262	31	7	☐
ラ	ラムゼイ・ルイス	テキーラ・モッキンバード	305	73	15	☐
	ラムゼイ・ルイス	ラヴ・ノーツ	304	72	15	☐
	ラムゼイ・ルイス&ナンシー・ウィルソン	トゥー・オブ・アス	306	74	15	☐
	ラリー・コリエル	スタンディング・オベーション	293	61	13	☐
	ラリー・コリエル	ヨーロッパの印象	294	62	13	☐
	リターン・トゥ・フォーエヴァー	ザ・コンプリート・コンサート	286-7	55	11	☐
	リターン・トゥ・フォーエヴァー	ミュージックマジック	285	54	11	☐
	ロスト・トライブ	失われた部族	322	90	19	☐
	ロニー・リストン・スミス	ア・ソング・フォー・ザ・チルドレン	310	78	16	☐
	ロニー・リストン・スミス	エキゾティック・ミステリーズ	309	77	16	☐
	ロニー・リストン・スミス	ラヴ・イズ・ジ・アンサー	311	79	16	☐
ワ	渡辺貞夫	ムバリ・アフリカ	332-3	100	20	☐
	ヴァリアス〜ジャコ・パストリアス・ワークショップ	ノット・フュージョン・バット・トゥルー・ジャズ	232	2	1	☐



クロスオーヴァー&フュージョン・コレクション1000の特設サイトはこちら▶http://jazzcollection1000.jp/c&f